

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	ふるさとを愛し、主体的に自己の将来を考える子どもの育成。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画
職業人出前授業小5～中3の受講割合(%)	44.2	45	46	50	
目標(何を達成するのか)	地域や社会に関心のある小6の割合(%)	71	73	74	80
・松江城などの地域資源を活用したふるさと松江に愛着と誇りを持つ教育を推進する。 ・子どもたちがふるさとに誇りと豊かさを感じ、主体的に社会人としての進路を選択する能力開発を推進する。	地域や社会に関心のある中3の割合(%)	61.5	64	66	80

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	項目名	目標年度
職業人出前授業小5～中3の受講割合	2029 (R11) 年度	
地域について考えている小6、中3の割合	2029 (R11) 年度	

・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」（職業人出前授業）、「いきいきゲーム」（起業家教育プログラム）の推奨や、中学生の社会体験（職場体験）学習の支援等を通して、学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図る。
・ふるさと教育の充実を図るために、国宝松江城を小・義務教育学校6年生の共通教材とした学習「松江城授業」を実施する。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移	・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」を34校（小20校、中14校）で実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」を7校20クラスで実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。	・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」の実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」の実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。	・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」の実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」の実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	3,193	4,673
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	3,193	4,673
一般財源	0	0
歳入合計	3,193	4,673

課題	・グローバル社会の中で自立した生活ができる人材を育成するためには、キャリア教育・ふるさと教育を推進し、社会人になるための基礎的な力を育てることが必要である。 ・引き続き、ふるさとにある「ひと・もの・こと」といった教育資源を活用した体験活動の充実を図っていくことが必要である。	方向性	・小中一貫教育による発達の段階に応じた系統的なキャリア教育・ふるさと教育を展開し、地域の教育力を生かした学校教育活動を引き続き推進する。 ・多様な職種や価値に觸れるために、時代や学校、子どものニーズに応じたプレゼンター構成を模索する。

松江市総合計画	基本目標	ひとりづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～12月	「松江城授業プロジェクト」の実施		
	5月～12月	「まつえ『子ども夢☆未来塾』」の実施		
	6月～2月	「いきいきゲーム」の実施		

本事業に関する主要データ	
○まつえ『子ども夢☆未来』塾	R1 年度 33校 (小21校・中12校)において実施 R2 年度 37校 (小23校・中14校) R3 年度 33校 (小18校・中15校) R4 年度 33校 (小20校・中13校) R5 年度 34校 (小20校・中14校)
○松江城授業	H28年度より、全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施。
○職場体験学習	R1年度 全市立中学校3年生、義務教育学校9年生を対象に実施。 R2年度 4校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から13校が中止。 R3年度 8校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から9校が中止。 R4年度 11校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から6校が中止(内5校は事業所を呼び、職業についての講話を聞く)。 R5年度 17校において実施。中止校はなし。
○いきいきゲーム	H30年度 6校10クラス 【朝駒小、来待小、母衣小、宍道小、持田小、忌部小】において実施。 R1 年度 4校10クラス 【乃木小、持田小、古江小、来待小】 R2 年度 11校15クラス 【法吉小、持田小、忌部小、生馬小、古江小、大野小・秋鹿小 (合同実施)、恵曇小、揖屋小、意東小、八束学園】 R3 年度 7校16クラス 【母衣小、出雲郷小、乃木小、大野小・秋鹿小 (合同実施)、鹿島東小、八雲小】 (川津小の4クラスは新型コロナウイルス感染防止の観点から中止) R4 年度 10校18クラス 【母衣小、恵曇小、八雲小、出雲郷小、意東小、法吉小、来待小、古江小、島根小、持田小】 R5 年度 7校20クラス 【古志原小・八雲小・乃木小・忌部小・川津小・八束学園・玉湯学園】 ※「いきいきゲーム」とは「児童が楽しみながら社会の仕組みを体験する中で、起業家精神(チャレンジ精神、創造性、探究心等)や起業家の資質・能力(情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション能力等)を養う事業」である。 ※「いきいきゲーム」は希望校を募る形で実施している(小学校5、6年生対象)。今後も引き続き各校への呼びかけを行い、新規の学校について優先的に採択するなどの対応を取っていく(現状は希望校多数のため、希望校全体で実施できていない状況。R5年度は13校応募)。クラス数単位での実施。

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	161		
需用費	242		
委託料	985		
使用料及び賃借料	3,285		
事業費計			4,673

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 コミュニティ・スクール推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	コミュニティ・スクール推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともににある学校づくり」を推進する。 市立小・中・義務教育学校において、学校運営協議会制度を導入する。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		地域や社会に関心のある小6の割合(%)	71	73	74	80
目標(何を達成するのか)	地域や社会に関心のある中3の割合(%)	61.5	64	66	80	

事業概要	(数値目標の目標年度)					
	項目名 地域について考えている小6、中3の割合 : 2029 (R11) 年度					
<ul style="list-style-type: none"> 各学校における学校運営の改善や児童生徒の健全育成を進めることができる「地域とともにある学校づくり」や学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」の実現をめざすもの。 市立各小・中・義務教育学校・高校に学校運営及び学校運営への必要な支援に関して協議する機関として「学校運営協議会」を設置するもの。 						

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
決算見込	当初予算	
事業費	1,714	2,293
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	1,714	2,293
歳入合計	1,714	2,293

課題	・学校運営協議会委員を対象に、制度に関する理解を図っていく必要がある。 ・この制度が有効に機能するために、地域学校協働本部との連携を強化していく必要がある。	方向性	・学校運営協議会会長や校長を対象とした連絡協議会を実施し、制度に対する理解を図っていく。 ・地域学校協働本部との連携を図るため、地域学校コーディネーターの学校運営協議会への参画を進める。 ・市内全校設置したことにより、校内を含め地域に理解を深めていく必要がある。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	コミュニティ・スクール推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	委員の任命	7月	地域学校協働本部連絡協議会
	5月～6月	設置校・学校運営協議会の開催		
	10月～11月	設置校・学校運営協議会の開催		
	2月～3月	設置校・学校運営協議会の開催		

本事業に関する主要データ				
【学校運営協議会設置校】				
R2年度～ 18校 小：津田小、古志原小、竹矢小、大庭小、本庄小、島根小、美保関小、八雲小、宍道小、来待小 中：第四中、湖東中、本庄中、島根中、美保関中、八雲中、宍道中				
義：八束学園				
R3年度～ 10校 小：城北小、内中原小、法吉小、生馬小、恵曇小、佐太小、鹿島東小 中：第一中、鹿島中				
義：玉湯学園				
R4年度～ 19校 小：川津小、持田小、朝酌小、母衣小、雜賀小、中央小、乃木小、忌部小、古江小、秋鹿小、大野小、揖屋小、出雲郷小、意東小 中：第二中、第三中、湖南中、湖北中、東出雲中 1校 高：皆美が丘女子高				
※市立全小・中・義務教育学校・高校に設置済				

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,016		
需用費	192		
役務費	85		
事業費計			2,293

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 「夢☆未来」学力育成推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	「夢☆未来」学力育成推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値	
ふるさと松江を愛し、確かな学力と豊かな人間性をもち、力強く未来を切り拓く児童生徒を育成する。	全国学調 全国値を上回る小学校割合(%)	39	55	55	75	
目標(何を達成するのか)	全国学調 全国値を上回る中学校割合(%)	63	65	65	80	
・学力向上対策を充実し、子どもたちの確かな学力の伸長を図る。 ・研修を充実し教員の指導力・授業力の向上を図るとともに子どもたちの学習意欲の向上を図る。						

事業概要	(数値目標の目標年度)											
	項目名 全国学力調査 全国値を上回る小中学校の割合: 2029 (R11) 年度											
・児童生徒の「確かな学力」を育成するために、次の人員を配置する。 【学力向上支援員】 授業補助や補充学習サポートを行う。 【配置校】 4校程度												
【学力向上支援講師】 授業を主担当で実施することが可能。教育的効果の高い少人数授業の充実をめざす。 【配置校】 8校程度												
・各校の教育力や教員の授業力の向上のため、指導主事等の訪問の充実を図る。												

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
(1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用(主として小6、中2の算数・数学を指導) ・学力向上支援員 4人 ・学力向上支援講師 8人	1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用(主として小6、中2の算数・数学を指導) ・学力向上支援員 4人 ・学力向上支援講師 8人	1)学力向上支援員と学力向上支援講師の活用(主として小6、中2の算数・数学を指導) ・学力向上支援員 4人 ・学力向上支援講師 8人	(2)学力定着診断テストの実施 ・学力の定着と育成を図る ・市独自のテスト等を実施(対象は小学4年生) (3)指導主事による学校訪問の実施 ・指導講師2人配置
(2)学力定着診断テストの実施 ・学力の定着と育成を図る ・市独自のテスト等を実施(対象は小学4年生)	(2)学力定着診断テストの実施 ・学力の定着と育成を図る ・市独自のテスト等を実施(対象は小学4年生)	(2)学力定着診断テストの実施 ・学力の定着と育成を図る ・市独自のテスト等を実施(対象は小学4年生)	(3)指導主事による学校訪問の実施 ・指導講師2人配置
(3)指導主事による学校訪問の実施 ・指導講師2人配置			
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	38,991	43,291
地方債	0	30,764
その他	0	0
一般財源	38,991	12,527
歳入合計	38,991	43,291

課題	平成26年度から実施している全国学力調査結果において、国語と比較して算数・数学については全国平均値を下回る状況が多く、算数・数学の授業改善が課題となっているため教員の指導力向上が必要である。また、中学校の家庭学習の時間についても全国値を下回る状況が続いているため、確かな学力の定着に向けて家庭学習のあり方や保護者との連携などの対策を検討する必要がある。 ・各種学力調査の結果分析や授業改善に向けた対策など学力調査結果の効果的な活用方法が市内各校で十分に共有されていない。	方向性	教員の授業力・指導力の向上を図るために研修を充実させる。 ・教員が子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えるきめ細かな指導を行うために、授業補助を行う学力向上支援員や少人数授業を主担当で受け持つ学力向上支援講師といった人的支援のさらなる充実を図る。 ・学校訪問等を通じて各校で成果を上げている取組の事例紹介等を行い、情報の共有化を図る。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	「夢☆未来」学力育成推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学力向上支援員・支援講師配置	12月～1月	学力定着診断プリント実施
	5月～7月	学力向上支援員・支援講師配置校訪問	3月	次年度の学力向上支援員・支援講師配置準備
	6月～11月	学力定着診断プリント実施		
	10月～11月	学力向上支援員・支援講師配置校訪問		

本事業に関する主要データ

島根県学力調査経年比較		
(令和3年度「小5・中1」→令和4年度「小6・中2」)		
経年比較『県平均と校内平均との差の変化』		
「○：R4がR3よりも2pt以上、上回るもの」「-：R4とR3の差が2pt未満のもの」「△：R4がR3よりも2pt以上、下回るもの」		

No.	学校名	配置	算数・数学【教科の正答率】					
			R3			R4		
			校内	県平均	差	校内	県平均	差
1	A小学校	支援員	49.6	58.9	-9.3	55.8	61.2	-5.4
2	B中学校	支援員	54.4	53.1	1.3	47.8	45.9	1.9
3	C中学校	支援員	53.1	53.1	0.0	41.3	45.9	-4.6
4	D中学校	支援員	47.2	53.1	-5.9	40.6	45.9	-5.3
5	E小学校	支援講師	57.4	58.9	-1.5	57.0	61.2	-4.2
6	F小学校	支援講師	49.7	58.9	-9.2	51.6	61.2	-9.6
7	G小学校	支援講師	54.5	58.9	-4.4	58.2	61.2	-3.0
8	H小学校	支援講師	51.1	58.9	-7.8	52.4	61.2	-8.8
9	I中学校	支援講師	52.8	53.1	-0.3	45.9	45.9	0.0
10	J中学校	支援講師	55.5	53.1	2.4	51.6	45.9	5.7
11	K小学校	支援講師(リ補充)	61.8	58.9	2.9	63.3	61.2	2.1
12	L小学校	支援講師(リ補充)	62.4	58.9	3.5	66.4	61.2	5.2
	「支援員」の平均値		51.1	54.6	-3.5	46.4	49.7	-3.4
	「支援講師」の平均値		53.5	57.0	-3.5	52.8	56.1	-3.3
	「小学校」の平均値		52.5	58.9	-6.4	55.0	61.2	-6.2
	「中学校」の平均値		52.6	53.1	-0.5	45.4	45.9	0.5
	「全体」の平均値		52.5	56.0	-3.5	50.2	53.6	-3.3

※支援講師(リ補充)…リーダー教員補充講師

||
||
||

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 ICT活用教育推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	ICT活用教育推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	情報化社会に対応できる能力育成を図るために、「松江市版GIGAスクール構想」に基づき、市立小・中・義務教育学校におけるICT活用の環境を整え、情報活用教育を推進していく。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画
目標(何を達成するのか)		全国学調 全国値を上回る小学校割合(%)	39	55	75
児童生徒1人1台のタブレット端末や市立小・中・義務教育学校の全クラスにICT教育機器を配備し、授業の質の向上や児童生徒の学力の育成を図る。		全国学調 全国値を上回る中学校割合(%)	63	65	80

事業概要	(数値目標の目標年度)
	項目名 全国学力調査 全国値を上回る小中学校の割合(%) 2029(R11)年度
H26年度から、各小・中・義務教育学校にICT教育機器(書画カメラ・プロジェクター・スクリーン等)の整備を行い、R2年度からは新学習指導要領に対応したICT教育機器整備を新ICT3点セット(電子黒板、タブレット、ネット環境)に切り替え、配備済みの旧3点セットは理科室以外の特別教室で活用する。また、児童生徒1人1台のタブレット端末の環境を整備する。	
R3年度末に松江市GIGAスクール構想を策定。R4年度にICT教育推進係を新設。R5年度にICT教育整備係を新設。教育指導講師2人をICT活用教育専任(ICT支援員)で配置し、ICT機器を活用した授業支援及び教員向けのICT研修の開催等、ICT活用教育の充実を図る。	

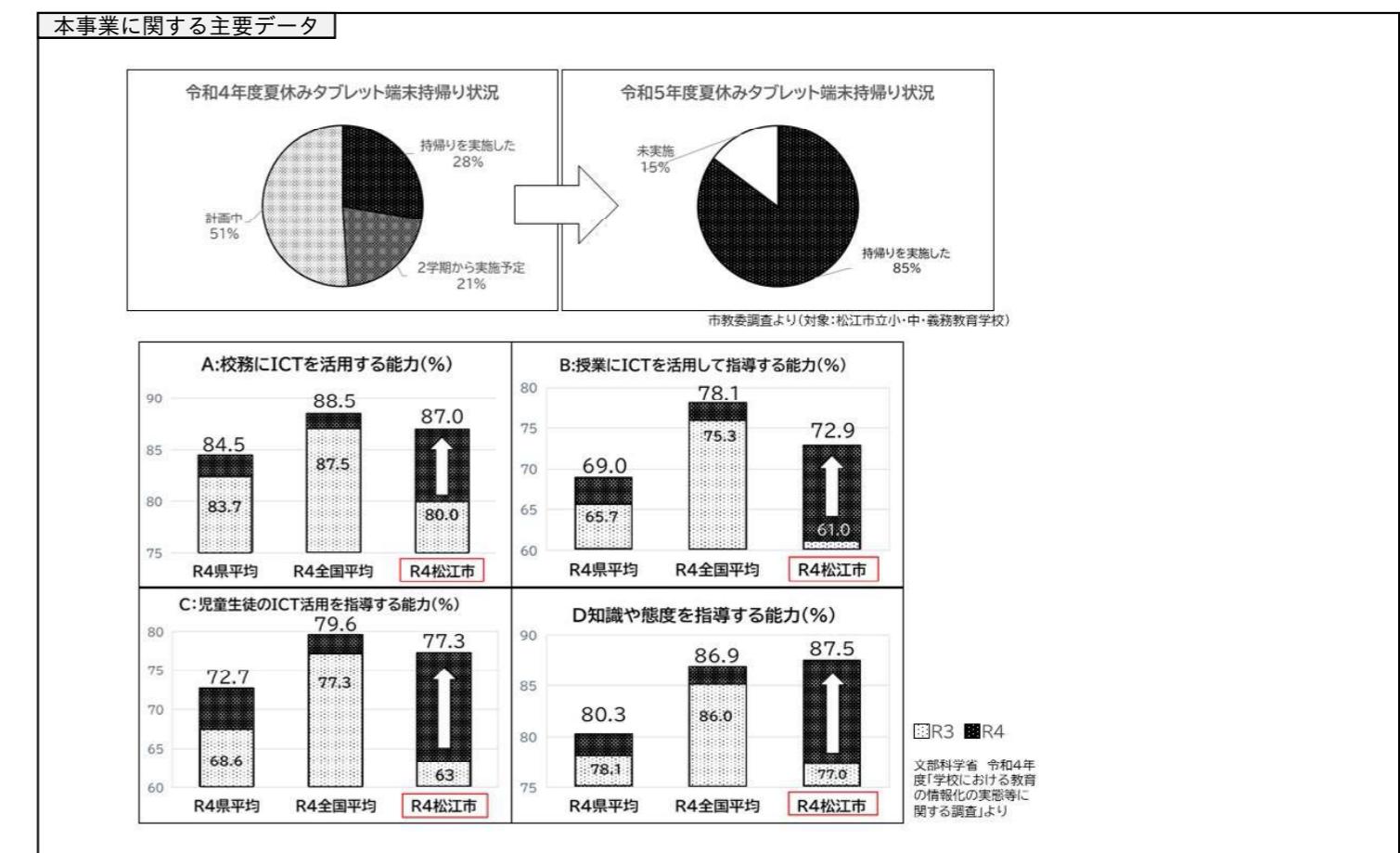
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> 継続:電子黒板リース、タブレットリース ICT研修会:49回、リーダー研修:2回、1Dayサポート:62回、ほつとライン訪問:36回 ICT活用事例発表会の開催:1回 長期休暇(夏休み)持帰り活用調査:持帰り実施40校(85%) 著作物利用手続き タブレット用ドリルソフトの活用 タブレット端末次期更新計画の検討 学校セキュリティポリシー策定 	<ul style="list-style-type: none"> 継続:電子黒板リース、タブレットリース ICT研修会の開催、授業支援の実施 ICT教育推進検討委員会の開催 ICT活用事例発表会の開催、プログラミングコンテスト実施 活用状況調査の実施 オンライン授業実施に向けた著作物利用手続き等(授業目的公衆通信補償金) タブレット用ドリルソフトの活用 タブレット端末次期更新計画の検討 次期GIGAスクール構想の検討・策定 	<ul style="list-style-type: none"> 継続:電子黒板リース、タブレットリース 次期GIGAタブレット調達 ICT研修会の開催、授業支援の実施 ICT教育推進検討委員会の開催 ICT活用事例発表会の開催、プログラミングコンテスト実施 活用状況調査の実施 オンライン授業実施に向けた著作物利用手続き等(授業目的公衆通信補償金) タブレット用ドリルソフトの活用
達成度		1 計画目標に向けて順調に推移	

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	195,499	202,521
国・県支出金	140,000	140,000
地方債	0	0
その他	0	21,298
一般財源	55,499	41,223
歳入合計	195,499	202,521

課題	方向性	実現目標	
		<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を効果的に活用した学びの推進と授業改善により学習意欲を高め、主体的に伝え合い学び合う子どもの育成に向けた研修やプログラミング教育等に対応するデジタル教材やコンテンツを活用した授業研修等の充実が必要である。 児童生徒や教員のICT活用スキルの向上や環境整備を進める必要がある。 最新の活用事例やICT機器情報を把握しながら将来的な展望や計画を策定していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領では小学校の外国語教育が教科化され、全教科におけるデジタルコンテンツの活用が必要となるため、一層のICT環境整備が望まれる。 H30年度まで配備したICT3点セットを理科室以外の特別教室で活用する。 電子黒板、タブレットを日常的に活用できるようICT活用研修やICT支援員(指導講師)による情報提供、訪問支援について、一層の充実を図る。 校務でのICT活用を進め、教職員の活用スキル向上に繋げる。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	ICT活用教育推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	電子黒板・タブレットリース料支払	10月	タイピングコンテスト
	5月	授業目的公衆送信補償申請		
	5月～12月	ICT(悉皆・リーダー対象)研修		
	6月	次期GIGAスクール構想検討会		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,994	補償補填及び賠償金	2,252
職員手当等	1,141		
共済費	981		
旅費	304		
需用費	6,478		
委託料	2,797		
使用料及び賃借料	184,574		
事業費計		202,521	

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 外国語教育推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	外国語教育推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	学習指導要領実施における外国語教育の拡充及び重点化により、今後さらに外国語教育を推進する。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
全国学調 全国値を上回る中学校割合(%)	63	65	65	80		
県学調 県平均値を上回る中学校割合(%)	56	85	85	95		
目標(何を達成するのか)						
・市立小・中・義務教育学校における外国語教育を推進し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力や外国語の学習への意欲の向上 ・外国語教育における小中学校の連携や円滑な接続						

事業概要	(数値目標の目標年度)				
	項目名	全国学力調査 全国平均値を上回る中学校割合 (%)	2029 (R11) 年度	項目名	県学調 県平均値を上回る中学校割合 (%)
<ul style="list-style-type: none"> 英語の専門性を有する専任スタッフを配置し、市立小・中・義務教育学校における外国語教育に指導・助言を行い、教員の指導力向上と児童生徒の英語力向上を図る。 指導主事とともに小学校における外国語・外国語活動及び中学校英語の授業訪問や訪問指導を行うことにより、教材やICT、ALT等の活用状況を把握し、今後の整備に活かす。 外国語教育指導協力員やALTの配置や派遣について、指導主事の補助を行う。 外国語教育に関わる教材の充実を図る。 児童生徒の英語での発信力、コミュニケーション力の育成を目的として「松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト」事業を実施する。 					

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ(児童とALTによる英語を通した交流会) 実施		専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ実施	専任スタッフ 1人配置 松江市長杯小中学生イングリッシュコンテスト実施 教材の有効活用 イングリッシュキャンプ実施
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	2,848	3,173
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	2,848	3,173
歳入合計	2,848	3,173

課題	・各校における外国語・外国語活動や英語科への取組や整備に差がある。 ・外国語教育指導協力員や外国語指導助手をさらに有効に活用するための研修及び配置の工夫等が必要である。 ・学習指導要領についての相互理解や指導において小中学校の連携が十分とは言えない。		・学習指導要領における外国語教育について、市立小・中・義務教育学校の教員へ研修や授業改善のための指導を行う。 ・ICT機器や教材について、整備や活用を進める。 ・外国語教育指導協力員やALTがより効果的に活用されるよう、人材確保や配置の工夫、研修に努める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	外国語教育推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ																																							
1. 外国語教育に係る学校訪問回数(令和5年度までは実績、令和6年度は予定)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th colspan="3">内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>28</td> <td colspan="3">小学校訪問18、小学校専科加配教員研修6、フォローアップ研修1、その他3(市教研授業研修会)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>30</td> <td colspan="3">中学校訪問15、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4、その他3(市教研授業研修会)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>31</td> <td colspan="3">小学校訪問12、中学校訪問6、高等学校1、小学校専科加配教員研修7、フォローアップ研修5</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>28</td> <td colspan="3">小学校訪問9、中学校訪問7、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>29</td> <td colspan="3">小学校訪問11、中学校訪問6、小学校専科加配教員研修1、フォローアップ研修5、小中高連携事業6</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>27</td> <td colspan="3">小学校訪問18、小学校専科加配教員研修4、フォローアップ研修5</td> </tr> </tbody> </table>					年度	回数	内 訳			R1	28	小学校訪問18、小学校専科加配教員研修6、フォローアップ研修1、その他3(市教研授業研修会)			R2	30	中学校訪問15、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4、その他3(市教研授業研修会)			R3	31	小学校訪問12、中学校訪問6、高等学校1、小学校専科加配教員研修7、フォローアップ研修5			R4	28	小学校訪問9、中学校訪問7、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4			R5	29	小学校訪問11、中学校訪問6、小学校専科加配教員研修1、フォローアップ研修5、小中高連携事業6			R6	27	小学校訪問18、小学校専科加配教員研修4、フォローアップ研修5		
年度	回数	内 訳																																					
R1	28	小学校訪問18、小学校専科加配教員研修6、フォローアップ研修1、その他3(市教研授業研修会)																																					
R2	30	中学校訪問15、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4、その他3(市教研授業研修会)																																					
R3	31	小学校訪問12、中学校訪問6、高等学校1、小学校専科加配教員研修7、フォローアップ研修5																																					
R4	28	小学校訪問9、中学校訪問7、小学校専科加配教員研修8、フォローアップ研修4																																					
R5	29	小学校訪問11、中学校訪問6、小学校専科加配教員研修1、フォローアップ研修5、小中高連携事業6																																					
R6	27	小学校訪問18、小学校専科加配教員研修4、フォローアップ研修5																																					
2. 外国語教育に係る研修(令和5年度実績)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名(開催時期または回数)</th> <th>主な対象(参加人数)</th> <th>主な研修内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校外国語教育研修(6月)</td> <td>ALT・中学校教員他(40名)</td> <td>思考力・判断力・表現力を育む授業、ALT活用</td> </tr> <tr> <td>小学校外国語専科加配教員研修(2回)</td> <td>該当教員(8名)</td> <td>授業参観をとおして授業力の向上を図る</td> </tr> </tbody> </table>					研修名(開催時期または回数)	主な対象(参加人数)	主な研修内容	中学校外国語教育研修(6月)	ALT・中学校教員他(40名)	思考力・判断力・表現力を育む授業、ALT活用	小学校外国語専科加配教員研修(2回)	該当教員(8名)	授業参観をとおして授業力の向上を図る																										
研修名(開催時期または回数)	主な対象(参加人数)	主な研修内容																																					
中学校外国語教育研修(6月)	ALT・中学校教員他(40名)	思考力・判断力・表現力を育む授業、ALT活用																																					
小学校外国語専科加配教員研修(2回)	該当教員(8名)	授業参観をとおして授業力の向上を図る																																					

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,915		
職員手当等	547		
共済費	449		
報償費	20		
旅費	27		
需用費	210		
役務費	5		
事業費計		3,173	

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 外国語指導助手（ALT）配置事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	外国語指導助手（ALT）配置事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
市立小・中・義務教育学校及び皆美が丘女子高等学校での外国語教育の充実を図るために、英語を母語とする外国人を外国語指導助手（ALT）として配置する。	全国学調 全国値を上回る中学校割合（%）	63	65	65	80
目標（何を達成するのか）	県学調 県平均値を上回る中学校割合（%）	56	85	85	95
国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりをめざし、ネイティブスピーカーの生きた英語や文化に触れる機会を増やすことによって、児童生徒の興味・関心や英語でのコミュニケーション能力を高める。					

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	項目名	内容
項目名 全国学力調査 全国平均値を上回る中学校の割合（%） 2029（R11）年度		
項目名 県学力調査 県平均値を上回る中学校の割合（%） 2029（R11）年度		

○学習指導要領に示されるグローバル社会に対応できる人材の育成
 ・外国語教育を充実させ、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を伸ばすことを目的に、16人の外国語指導助手（ALT）を市立小・中・義務教育学校及び皆美が丘女子高に配置している。（学級数に応じた日数、原則学園毎に同ALTを配置）
 ・児童生徒の英語や外国への興味・関心を高めるとともに、国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりを行う。

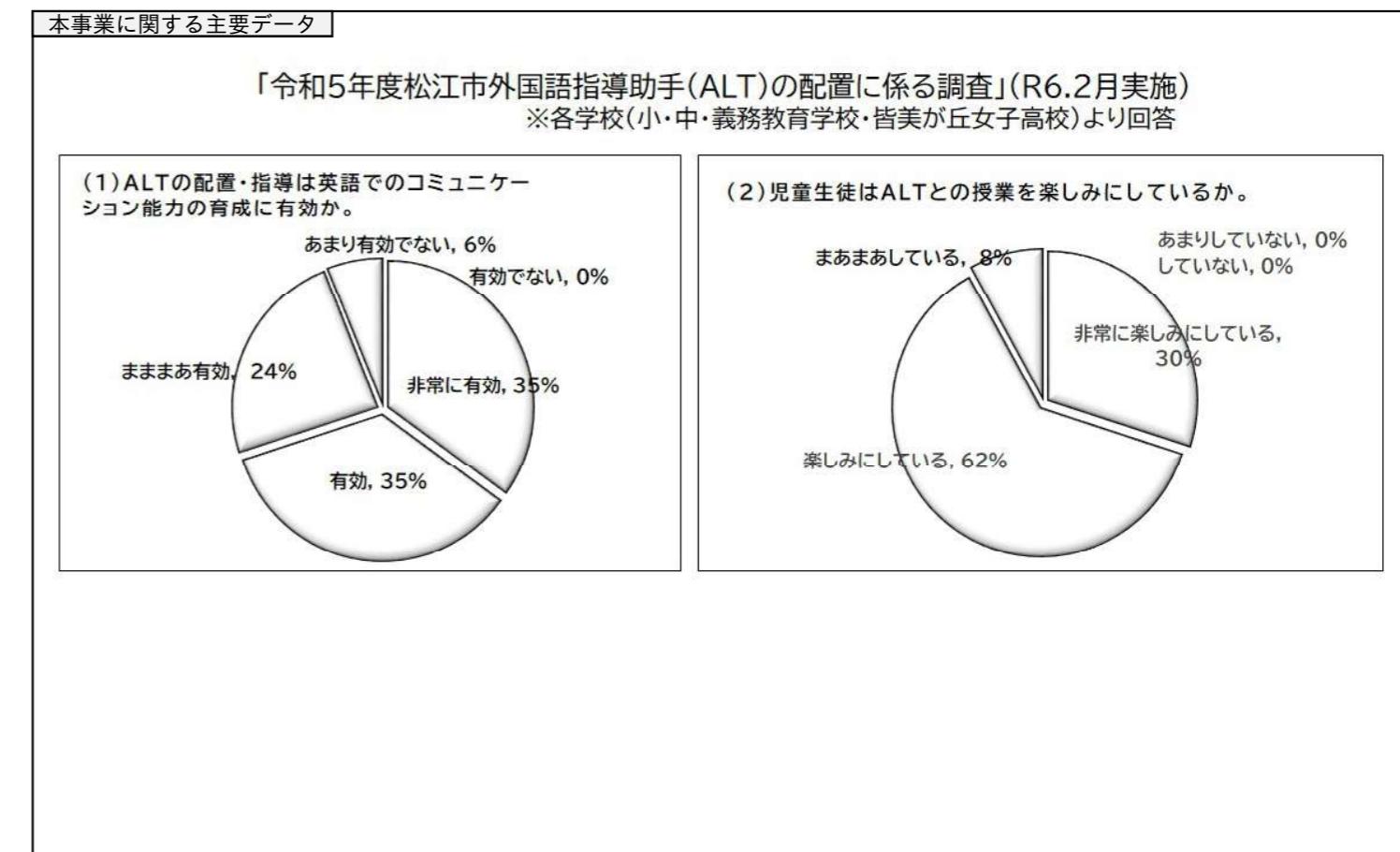
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	73,709	73,709
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	70,000	50,000
歳入合計	3,709	23,709
	73,709	73,709

課題	方向性	課題内容	
		現状分析	対応策
現在松江市ではALTを学園（中学校区）ごとに配置している。外国語教育における小中学校の円滑な接続が行われるよう一層の工夫や研修が必要である。 小学校での外国語教育の充実及び皆美が丘女子高校の国際コミュニケーション科に対応するため、更にALT配置を充実させる必要がある。		学習指導要領における「外部人材の活用」の在り方について、学校訪問や研修会の際に指導助言を行う。 派遣契約におけるALT活用について、学校訪問等の機会に周知・指導を行う。 皆美が丘女子高校の国際コミュニケーション科に対応するため、関係者との連携を図る。	

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	外国語指導助手（ALT）配置事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	ALT配置		
	5月～	ALT研修（年間3回）・・・契約事務所による		
	12月	学校による評価		
	2月	次年度計画作成		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	73,709		
事業費計			73,709

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 小学校外国語教育指導協力員派遣事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	小学校外国語教育指導協力員派遣事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
	授業や指導がより充実する肯定的回答回答 (%)	100	100	100	100
	※小学校外国語教育指導協力員配置調査				
	国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりをめざし、英語によるコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を身に付けた子どもを育てる。				

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	項目名	授業や指導がより充実する肯定的回答回答 (%) 2029 (R11) 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領における小学校3・4年生「外国語活動」の必修化及び5・6年生教科「外国語」により、この事業を充実する必要がある。 小学生が英語に慣れ親しみながら意欲的に学ぶため、英語の専門性と多様な知識や経験を持つ外国語教育指導協力員がモデルを示したり、担当教員と協力しながら対話や活動、授業準備等を行ったりする。 専科加配のあった学校を除く市立小・義務教育学校（前期課程）に、外国語教育指導協力員を配置することを原則とする。 	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> 外国語教育指導協力員配置 8人（小学校22校、義務教育学校2校） 派遣回数 940回 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語教育指導協力員配置 8人（小学校22校、義務教育学校2校） 派遣回数 960回 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語教育指導協力員配置 8人（小学校22校、義務教育学校2校） 派遣回数 960回
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

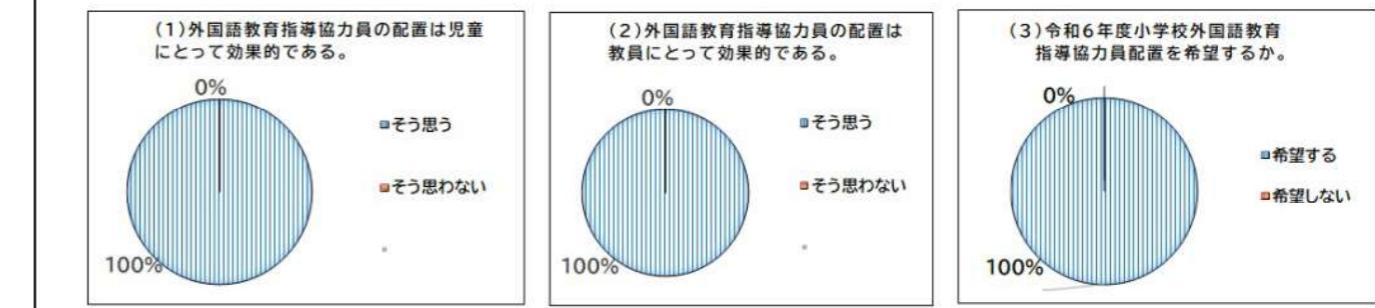
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
	決算見込	当初予算
	事業費 5,684	5,684
	国・県支出金 0	0
	地方債 0	0
	その他 0	0
	一般財源 5,684	5,684
	歳入合計 5,684	5,684

課題	方向性	各校での需要や要望が高まっているが十分な配置ができていない。	
		・外國語教育指導協力員の活用の在り方を含めた小学校外國語教育が中学校と円滑に接続するよう指導する。 ・十分な指導力を有する外國語教育指導協力員の確保と派遣回数の増に向けた体制を整備する。	

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	小学校外國語教育指導協力員派遣事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ
「令和5年度松江市小学校外國語教育指導協力員配置に係る調査」(R6.2月実施) ※外國語教育指導協力員配置校回答



〔(1)児童にとって〕特にどのような点で効果的か。(複数回答可) 1.児童に標準的な英語を聞かせができる。 96 % 2.学習活動や教材等が工夫されている。 54 % 3.異文化理解・国際交流 67 % 4.その他（励まし、賞賛の言葉かけを英語でしてもらえるので児童の意欲が高まる）	〔(2)教員にとって〕特にどのような点で効果的か。(複数回答可) 1.授業や指導がより充実する。 100 % 2.教員の準備等の負担が軽減される。 38 % 3.指導方法が参考になる。 67 % 4.その他（言語上の間違いを指摘してもらえる）
---	---

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	5,684		
事業費計			5,684

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 学力向上推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	学力向上推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	確かな学力をもち、力強く未来を切り拓く児童生徒の育成を図る。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		全国学調 全国値を上回る小学校割合 (%)	39	55	55	75
	目標(何を達成するのか)	全国学調 全国値を上回る中学校割合 (%)	63	65	65	80
	学力向上に向けた学校訪問指導や研修会を実施し、各校の教育力や教師の授業力・指導力の向上を図る。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 全国学力調査 全国値を上回る小中学校の割合 (%) 2029 (R11) 年度
	各校の教育力や教師の授業力・指導力の向上のため、巡回指導主事訪問等の充実を図る。
	県派遣指導主事 1人

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	県派遣指導主事 1人配置	県派遣指導主事 1人配置	県派遣指導主事 1人配置
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
	決算見込	当初予算
	事業費 2,442	3,279
	国・県支出金 0	0
	地方債 0	0
	その他 0	0
一般財源	2,442	3,279
歳入合計	2,442	3,279

課題	全国学力調査、県学力調査結果から解答類型を活用した分析を行い、各校の実情に応じた支援を行う必要がある。	方向性	学校訪問指導を計画的に実施し、教員の授業力・指導力と各校における課題の改善に向けた取組の充実を図る。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	学力向上推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容		時期	実施内容	
	6月～2月	学校訪問指導				
	6月、11月	学力向上支援校訪問				
	8月	全国学力調査分析				
	2月	島根県学力調査分析				

本事業に関する主要データ

	R5学校訪問指導 訪問回数											合計
	国語	社会	算数 数学	理科	英語	体育	音楽	美術	道徳	学活	その他	合計
フォローアップ研修 2年目	11	4	15	3	2	7	1	2	4	1	5	55
フォローアップ研修 3年目 (希望者)	1	1	8	0	3	2	0	0	1	0	1	17
授業づくり研修 (希望者)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3

受講者内訳	小学校	中学校	義務教育学校	高校
採用2年目	36人	14人	3人	1人
採用3年目	11人	7人	0人	0人
講師	0人	2人	1人	0人

フォローアップ研修2年目は、採用2年目の教員を対象とした学校訪問指導。3年目は、採用3年目の教員を対象。
授業づくり研修は、講師1年目を対象とした継続型の訪問指導。
6月から2月にかけて、指導主事、指導講師13人で分担して実施。

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,279		
事業費計			3,279

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 学校図書館司書配置事業費(小学校)

所属	事業名
教育委員会学校教育課	学校図書館司書配置事業費(小学校)

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	・図書の貸出や返却業務、図書館環境整備により、読書活動や学習活動の活性化を図る。 ・児童の読書や学習に関する図書の選定等の相談や指導を行うことにより、読書活動の意欲向上と充実を図る。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画
	目標(何を達成するのか)	全国学調 全国値を上回る小学校割合(%)	39	55	75
	児童の読書意欲を高めるとともに授業での学習資料の提供や探究的な学習の補助をするなど、教職員と共に学校図書館活用教育の充実を図る。	県学調 県平均値を上回る小学校割合(%)	42	80	85
					100

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	項目名	全国学力調査 全国値を上回る小学校割合 (%) 2029 (R11) 年度
	項目名	県学力調査 県平均値を上回る小学校割合 (%) 2029 (R11) 年度
市立小学校（義務教育学校八束学園、玉湯学園前期課程を含む）に専任司書を配置し、司書教諭ならびに教職員と連携をとりながら、子どもたちの読書活動や学習等への支援を行う。 H21年度から学校司書を全校配置（33人）。子どもたちの情報リテラシーの習得をめざす。 ※毎年他県から学校図書館活用教育の先進地区として松江市へ行政視察があり、学校教育課内に設置する学校図書館支援センターで対応している。		

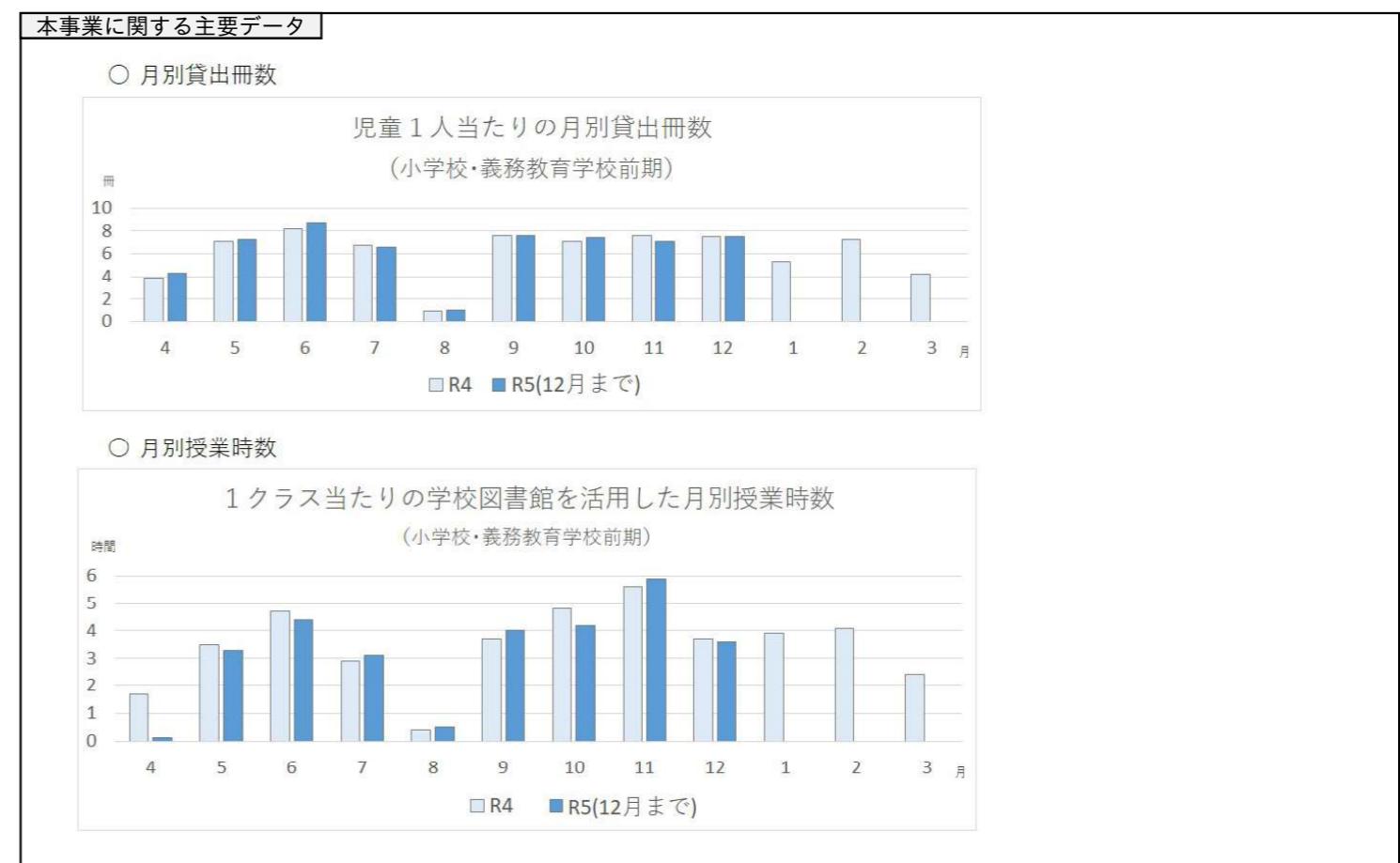
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ配置（週29時間勤務17人、週25時間勤務16人 計33人）	・市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ33人配置	・市立全小学校31校と義務教育学校2校（八束学園、玉湯学園前期課程）へ33人配置
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	71,751	76,737
地方債	20,373	25,740
その他	0	0
一般財源	51,378	50,997
歳入合計	71,751	76,737

課題	・学習指導要領における理念に基づき、子どもたちが社会に出てからも様々な課題に対処し、解決できる資質・能力を身に付けるために、学校司書の全校配置を継続するとともに、規模に応じた学校司書の勤務時間を計画的に設定することが必要である。 ・学校図書館活用教育の充実のために構築した校内体制を活用し、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書が協働し様々な教科での実践に取り組む必要がある。	方向性	・学校司書の全校配置を継続する。 ・学校図書館活用教育の充実のための校内体制を構築する。 ・学校司書の資質・能力の向上を図るために研修を充実させる。 ・児童一人当たりの年間貸出冊数（県平均73.3冊〈R4〉）を伸ばし、本や資料との出会いの機会を増やすことで、読書活動を活性化させる。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	学校図書館司書配置事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	全小学校・義務教育学校へ学校司書配置		
	4月～12月	学校司書対象研修会実施		
	2月～3月	次年度の学校司書配置準備		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	48,000		
職員手当等	14,900		
共済費	11,952		
旅費	1,885		
事業費計			76,737

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 学校図書館司書配置事業費(中学校)

所属	事業名
教育委員会学校教育課	学校図書館司書配置事業費(中学校)

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
・図書の貸出や返却、図書館環境整備により、読書活動の活性化を図る。 ・生徒や教員へ資料選定等の相談、効果的な資料の提供等、学習活動をサポートすることにより、生徒の学習内容の理解と意欲向上を図る。	全国学調 全国値を上回る中学校割合(%)	63	65	65	80
目標(何を達成するのか) 生徒の読書意欲を高めるとともに、生徒や教職員から授業で使う学習資料の相談や提供、探究的な学習の補助をするなど、教職員と共に学校図書館活用教育の充実を図る。	県学調 県平均値を上回る中学校割合(%)	56	85	85	95
(数値目標の目標年度)					

事業概要	項目名 全国学力調査 全国値を上回る中学校割合(%) 2029(R11)年度
	項目名 県学力調査 県平均値を上回る中学校割合(%) 2029(R11)年度
市立中学校(義務教育学校玉湯学園後期課程を含む)に専任司書を配置し、司書教諭ならびに教職員と連携をとりながら、子どもたちの読書活動や学習等への支援を行う。H21年度から学校司書全校配置(15人)。義務教育学校八束学園は、小学校で計上(1人配置)子どもたちの情報リテラシーの向上をめざす。	
※毎年他県から学校図書館活用教育の先進地区として松江市へ行政視察があり、学校教育課内に設置する学校図書館支援センターで対応している。	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置(週29時間勤務8人、週25時間勤務7人 計15人)	市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置(15人)	市立全中学校、義務教育学校玉湯学園後期課程15校へ配置(15人)
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込 33,040	当初予算 35,205
国・県支出金	10,737	11,700
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	22,303	23,505
歳入合計	33,040	35,205

課題	・学習指導要領における理念に基づき、子どもたちが社会に出てからも様々な課題に対処し、解決できる資質・能力を身に付けるために、学校司書の全校配置を継続するとともに、学校規模に応じた勤務時間について計画的に取り入れることが必要である。 ・学校図書館活用教育の充実のために構築した校内体制を活用し、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書が協働し様々な教科での実践に取り組む必要がある。	方向性	・学校司書の全校配置を継続する。 ・学校図書館活用教育の充実のために校内体制を構築する。 ・学校司書の資質・能力の向上を図るために研修を充実させる。 ・生徒一人当たりの年間貸出冊数(県平均12.9冊<R4>)を伸ばし、本や資料との出会いの機会を増やすことで、読書活動を活性化させる。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	学校図書館司書配置事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	全中学校・義務教育学校へ学校司書配置		
	4月～12月	学校司書対象研修会実施		
	2月～3月	次年度の学校司書配置準備		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	21,869		
職員手当等	6,808		
共済費	5,482		
旅費	1,046		
事業費計			35,205

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	発達・教育相談支援センター運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	障がい等による子どもたちの生活や学習上の困難さに早期に気づき、切れ目のない相談体制のもと適切な支援につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
①異なる専門性（教育、保健、福祉、医療）の高度な連携【連携強化】	就学支援に対する保護者の納得度割合（%）	85	90	90	92	
②選択可能な学びの場や支援体制の整備の充実【支援拡充】	進路選択に対する生徒の満足割合（%）	85	90	90	90	
③まわりの大人の子ども理解力の向上と共生社会意識の醸成【意識転換】	交流学習計画授業時数の割合（%）	41	42	43	47	

事業概要	(数値目標の目標年度)
	・就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】：2029（R11）年度
・中学校3年生特別支援学級在籍生徒の進路選択に対する満足割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度	
・年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】：2029（R11）年度	
・発達・教育相談支援センター「エスコ」は、教育を中心に保健・福祉・医療等との連携を深め、乳幼児期から一貫した相談支援を実施している。幅広い発達段階や多様な障がいの状況等を有するケースに対応しており、適切な実態把握や丁寧で継続した相談対応、効果的な療育を実施すること等が求められている。	
・専門スタッフの入件費、電話代等、センター運営にかかる諸経費。	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・相談支援体制の一層の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人役増（31時間）とした。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。	・相談支援体制の一層の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人増とする。 ・教育・保健・福祉・医療等関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。	・教育・保健・福祉・医療等関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。
達成度	【その他財源内訳】 子ども発達支援事業費県補助金 2,500千円		
2 計画目標に向かって概ね順調			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	41,869	47,733
国・県支出金		2,500
地方債		
その他		0
一般財源	41,869	45,233
歳入合計	41,869	47,733

課題	・相談件数は、年間4,000件前後で推移しており、相談内容も年々複雑化している。今後も更に困難なケースの増加が予想される。（R4年度は、保健所対応により新規の相談申込を一時停止したため件数が減少した。） ・困難なケースへの対応、関係機関との連携、早期の気づきに応じた適切な助言指導及び効果的な療育等が求められており、スタッフの高い専門性の維持が必要である。	方向性	・困難なケースの増加に対応するため、教育、保健、福祉、医療等との連携強化を図り支援にあたる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・「松江市特別支援教育推進計画（2023～2025）」に沿って、学校、園等現場の支援体制の整備を進める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	発達・教育相談支援センターの運営
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	特別支援教育コ-ティネーター説明会、研修	9月下旬	特別支援教育コ-ティネーター研修
	4月～	専門巡回相談、就学相談の申込受付開始	11月末	就学相談申込受付締切
	6月～	専門巡回相談、就学相談の実施	12月末	専門巡回相談申込受付締切
	6～3月	特別支援教育就学審議会（月1回、10回開催）	2～3月	次年度の各種相談、特別支援教育コ-ティネーター研修等検討

本事業に関する主要データ							
幼児児童生徒等別相談件数の状況							単位:件
	幼児	小学生	中学生	高校生	成人	合計	
H23	711 1,247	536 516	475 127	41 181	106 78	21 83	2,071
H24	945 1,929	984 742	621 292	121 161	244 72	48 50	3,124
H25	1,319 2,153	834 720	613 380	107 122	322 16	58 35	3,375
H26	1,392 2,770	1,378 720	635 311	85 51	273 42	38 22	3,852
H27	1,463 2,928	1,465 903	824 416	79 34	374 61	42 19	4,281
H28	1,480 3,283	1,803 897	776 383	121 38	322 38	61 19	4,601
H29	1,242 2,891	1,649 1,061	941 290	120 26	213 77	12 14	4,268
H30	969 2,545	1,576 1,076	933 227	143 7	182 45	3 4	3,855
R1	1,036 2,638	1,602 1,287	1,127 240	160 58	182 8	3 3	4,176
R2	950 2,250	1,300 1,341	1,038 227	303 72	155 3	1 1	3,822
R3	832 2,073	1,241 1,419	1,146 214	273 43	171 2	3 1	3,711
R4	755 1,912	1,157 1,217	904 240	313 5	168 1	72 6	3,375

【通常】通常の学級に在籍する児童生徒、【特学】特別支援学級に在籍する児童生徒の相談件数

共創の状況	その他（協力、連携など）																																				
R6節別当初予算額内訳（千円）																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>節名称</th> <th>金額</th> <th>節名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>28,321</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>8,015</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>6,721</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>932</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>117</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>318</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>3,309</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td></tr> <tr> <td colspan="2">47,733</td></tr> </tbody> </table>		節名称	金額	節名称	金額	報酬	28,321			職員手当等	8,015			共済費	6,721			旅費	932			需用費	117			役務費	318			負担金補助及び交付金	3,309			事業費計		47,733	
節名称	金額	節名称	金額																																		
報酬	28,321																																				
職員手当等	8,015																																				
共済費	6,721																																				
旅費	932																																				
需用費	117																																				
役務費	318																																				
負担金補助及び交付金	3,309																																				
事業費計																																					
47,733																																					

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会発達・教育相談支援センター 特別支援学級介助員配置事業費

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	特別支援学級介助員配置事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
特別支援学級に在籍する児童生徒に対する安全確保や介助を行い、学校生活への適応や学習活動の充実を図る。特にインクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援学級児童生徒の交流及び共同学習の充実を図る。	進路選択に対する生徒の満足割合(%)	85	90	90	90
目標(何を達成するのか)	交流学習計画授業時数の割合(%)	41	42	43	47
①特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保と必要な介助・支援を行う。 ②5人以上在籍する特別支援学級に配置する。 ③障がいの程度が重度な児童生徒の地域の学校への就学ニーズに応じる。	就学支援に対する保護者の納得度割合(%)	85	90	90	92

事業概要	(数値目標の目標年度)
	・中学校3年生特別支援学級在籍生徒の進路選択に対する満足割合【対象生徒へのアンケート】: 2029 (R11) 年度 ・年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】: 2029 (R11) 年度 ・就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】: 2029 (R11) 年度 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の安全確保や必要な介助、交流及び共同学習の充実のため「特別支援学級介助員」を配置する。 ・配置にあたっては、各学級に在籍する児童生徒の人数や実態を踏まえた上で、人的支援の必要性を精査して行う。 ・事業開始: 平成7年度

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画		
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(義務教育学校前期課程含む)14校16人、中学校7校10人 計26人配置 ・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,205円/時間 ・校外教育活動旅費: 年間4,000円 ・研修: 年3回 		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級に在籍する児童生徒数の増加と教育的ニーズの多様化が進んでおり、配置の必要性の高い学級が増えているため、配置を拡充し基礎的環境整備を整える。 ・週19時間以内の勤務 		
達成度					
2 計画目標に向かって概ね順調					

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位: 千円)	R5	R6
	決算見込	当初予算	
事業費	29,553	33,049	
国・県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	29,553	33,049	
歳入合計	29,553	33,049	

課題	・特別支援学級在籍児童生徒数の増加と障がいの多様化が進んでおり、担任1人での対応が難しい学級が増加している。	方向性	・一人一人の教育的ニーズに応じた指導と、通常の学級の児童生徒との交流及び共同学習をより充実させるために、特別支援学級介助員の配置を拡充し、基礎的環境を整える必要がある。
	・障がいの程度が重度であっても、地域の学校で育てたい保護者が増えていること、通常の学級での交流及び共同学習を必要とする児童生徒が増えていること等から、特別支援学級介助員の配置のニーズが高まっている。		・管理職、通常の学級担任、特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター等との連携を図り、学校全体で特別支援学級児童生徒の教育を推進する。 ・特別支援学級担任の指導力の向上を図るために、研修や巡回相談を充実させる。

松江市総合計画	基本目標	ひとりづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	特別支援学級介助員配置事業
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	任用・配置校説明会	9月	研修
	5月	研修	12月	研修
	7・12・3月	配置校から「実施状況報告書」提出	3月	次年度配置校決定
	8月~	次年度配置、内容等について検討		

本事業に関する主要データ													
特別支援学級配置数の推移(小・中学校合計)												令和5年5月1日現在	
年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
知的障がい	49	52	50	48	51	51	49	47	47	49	47	49	50
自閉症・情緒障がい	42	47	47	46	45	49	51	56	58	60	62	67	73
難聴	1	1	1	1	1	3	3	4	5	6	4	4	4
難視	5	5	7	7	7	8	8	8	9	8	5	4	4
肢体不自由	6	4	5	7	6	6	6	9	10	11	13	13	13
病弱	10	9	7	7	10	9	6	8	10	11	14	10	11
合計	113	118	117	116	117	127	126	130	136	145	145	146	151

特別支援学級在籍児童生徒数の推移(小・中学校合計)												令和5年5月1日現在	
年度	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
知的障がい	169	161	155	149	148	157	153	153	150	170	174	177	185
自閉症・情緒障がい	114	121	135	130	140	162	179	211	215	238	268	307	339
難聴	1	2	1	1	1	3	3	4	5	6	4	4	4
難視	5	6	9	9	10	9	9	10	10	11	10	7	6
肢体不自由	6	5	8	8	10	9	12	11	12	15	14	15	15
病弱	11	9	8	8	14	12	9	10	11	14	10	11	11
合計	306	304	316	305	315	355	365	399	401	448	485	519	560

共創の状況	共創の手法になじまない
R6節別	

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会青少年支援室 青少年支援センター運営費

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	青少年支援センター運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	様々な困難を抱える子ども・若者から相談を受け、悩みを解決するための必要な支援を行う。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		就労等体験協力事業所数	50	50	50	50
	目標（何を達成するのか）					
	様々な困難を抱える子ども・若者の円滑な社会生活及び自立					

事業概要	<p>様々な困難を抱える子ども・若者やその家族から気軽に相談できるセンターとして運営する。支援については、居場所支援（学び・生活支援）、就労支援など相談者の要望を踏まえ、相談者に寄り添いきめ細やかな支援を継続的に実施する。</p>
------	---

事業 計 画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども・若者に関する相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年支援連絡会及び青少年支援セミナーの開催 ・就労等体験協力事業所の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども・若者に関する相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年支援連絡会及び青少年支援セミナーの開催 ・就労等体験協力事業所の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども・若者に関する相談・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援活動の実施 ・継続的な居場所支援（学び・生活支援）、就労支援等の実施 ・社会体験事業の実施 ○関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年支援連絡会及び青少年支援セミナーの開催 ・就労等体験協力事業所の開拓
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R5	R6
財源内訳	事業費	決算見込	当初予算
	国・県支出金	2,632	2,56
	地方債	445	45
	その他		
	一般財源	2,187	2,10
	歳入合計	2,632	2,56

課題	<ul style="list-style-type: none">・引き続き関係機関とのネットワークを強化し、切れ目ない支援体制の構築を行っていく必要がある。・支援者の困難特性が複雑化しており、これに対応できる指導員のスキル向上が必要。
----	--

方向性

- ・誰もが気軽に相談できる環境づくりを行う。
- ・相談者の実情に合わせ、寄り添いながらきめ細やかな支援を行い、最終的には社会人としての自立ができるよう導く。
- ・相談者の要望等を踏まえながら関係機関との連絡・協議の機会を増やすなど、ネットワークを強化し、切れ目ない支援体制の構築を行っていく。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	青少年支援事業

R6スケ ジュー ル	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	相談・支援業務		
	7月	青少年支援連絡会の開催（年1回）		
	隨時	青少年支援セミナーの開催		
	隨時	職員研修の開催		

本事業に関する主要データ



青少年支援連絡会



青少年支援セミナー

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	496		
旅費	21		
需用費	158		
役務費	186		
委託料	83		
使用料及び賃借料	1,616		
事業費計			2,560

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会青少年支援室 青少年居場所事業費

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	青少年居場所事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	困難を抱える子ども・若者の自立を促すため、子ども・若者の居場所の設置、運営を行う団体を支援する。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		支援団体数(団体)	4	4	4	6
目標（何を達成するのか）	困難を抱える子ども・若者の自立					

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	項目名	支援団体数(団体) : 2029 (R11) 年度
島根県「子ども・若者自立支援総合推進事業補助金」(R2年度～R6年度、補助率1/2)を活用し、NPO法人等が困難を抱える子ども・若者の自立につなげるために行っている居場所の提供や就労支援事業を支援する。補助率10/10(1団体当たり限度額2,000千円)事業費8,000千円(市4,000千円 県4,000千円)		

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移	NPO法人等が困難を抱える子ども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援することができた。また、支援団体の活動の視察を行い、連携を図ることができた。	NPO法人等が困難を抱える子ども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援する。より多くの団体が制度を利活用できるよう、市内の居場所事業を行うNPOに対してPRに努める。	NPO法人等が困難を抱える子ども・若者の自立につなげるために行っている居場所の設置や運営、就労支援事業を支援する。より多くの団体が制度を利活用できるよう、市内の居場所事業を行うNPOに対してPRに努める。

歳入・歳出の推移(単位:千円)	R5	R6
	決算見込	当初予算
事業費	8,000	8,000
国・県支出金	4,000	4,000
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	4,000	4,000
歳入合計	8,000	8,000

課題	より多くの困難を抱える子ども・若者を支援することが可能となるよう、今後多くの団体への支援ができる仕組みを検討する必要がある。	方向性	居場所事業を行っている団体との連携を密にして、困難を抱える子ども・若者を支援するとともに、より多くの団体への支援を行っていく。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	青少年支援事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	交付申請受付・交付決定		
	3月	事業完了		

補助団体	補助対象事業の内容	利用人数(人)		
		R2	R3	R4
特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	居場所事業 就労支援事業 体験・交流支援事業	(居場所利用者: 延べ) 448	(居場所利用者: 延べ) 687	(居場所利用者: 延べ) 783
特定非営利活動法人 Y C スタジオ	居場所事業 その他(居場所事業、就労支援事業、学習支援事業、体験・交流支援事業及び相談事業の受け皿としての居場所事業)	(居場所利用者: 延べ) 360	(居場所利用者: 延べ) 451	(居場所利用者: 延べ) 348
特定非営利活動法人 バリアフリー・シネマ&ライフ・ネットワーク	居場所事業 就労支援事業 体験・交流支援事業	20 (うち困難を抱える若者:7)	18 (うち困難を抱える若者:15)	22 (うち困難を抱える若者:13)
特定非営利活動法人 スペース (※R3年度新規補助対象団体)	居場所事業 学習支援事業	※実人数	※実人数	※実人数
		—	(利用者:延べ) 1,410	(利用者:延べ) 1,838

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,000		
事業費計			8,000

令和6年度 総合計画実施計画

中央図書館 中央図書館運営費

所属	事業名
中央図書館	中央図書館運営費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	・市民課題の解決 ・行政課題の解決	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市立図書館貸出冊数(冊)	405,000	598,000	616,000	800,000
	目標(何を達成するのか)	高校生1人あたりの年間貸出冊数(冊)	0.3	0.8	0.8	1.0
	・市民が利用しやすい図書館づくり	中央図書館来館者数(人)	103,000	220,000	227,000	300,000

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市立中央図書館管理運営費 *運営は(公財)松江市スポーツ・文化振興財団に委託。 ・市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。 ・中央図書館を中心に、2つの地域館(島根、東出雲)、移動図書館車(だんだん号)、配本文業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書サービスを提供する。
------	--

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・6月19日東出雲図書館移転オープン ・7月末中央図書館代替サービス終了 ・10月1日中央図書館リニューアルオープン <p>【その他財源内訳】 市立図書館定期講座受講料 80千円 広告料収入 166千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生世代に向けた読書推進の取り組み ・リニューアルした中央図書館のPR、イベントの実施 ・読書に関する相談窓口の開設とバリアフリー図書の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生世代に向けた読書推進の取り組み ・リニューアルした中央図書館のPR、イベントの実施 ・読書に関する相談窓口の開設とバリアフリー図書の充実
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費		31,920
国・県支出金		0
地方債		
その他		460
一般財源	0	31,460
歳入合計	0	31,920

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の新規拡大 ・中高生世代への読書活動推進 ・読書バリアフリー対応 ・電子図書の導入に向けた検討 ・他部局との連携推進 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市立図書館全体で、市民一人当たりの年間貸出冊数4冊をめざす。 ・中高生の貸出冊数の増加をめざす。 ・中央図書館の来館者の増加をめざす。 ・読書に困難を有する人を読書につなぐ。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	図書館の運営

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	月水木金土曜日	移動図書館車の運行		
	木土日曜日	お話し会の実施		

本事業に関する主要データ

市民一人あたりの貸出冊数(令和3年度実績)					
○中核市					
都市名	人口(千人)	個人貸出数(千冊)	団体貸出数(千冊)	1人当たりの貸出数(冊)	
1 吹田	376	3,623	71	9.82	
2 枚方	400	3,841	54	9.74	
3 豊中	409	3,147	118	7.98	
4 高知	325	2,358	210	7.90	
5 高槻	351	2,636	110	7.82	
6 明石	304	2,217	37	7.41	
7 一宮	384	2,662	41	7.04	
8 豊田	422	2,859	45	6.88	
9 西宮	484	3,312	8	6.86	
10 宇都宮	521	3,514	32	6.81	
11 松本	238	1,564	25	6.68	
12 高松	426	2,505	52	6.00	
13 尾尾	265	1,454	79	5.78	
14 前橋	335	1,893	17	5.70	
15 高崎	372	2,090	14	5.66	
16 岡崎	386	2,072	98	5.62	
17 金沢	451	2,216	43	5.01	
18 倉敷	482	2,256	105	4.90	
19 岐阜	407	1,961	14	4.85	
20 川口	607	2,908	10	4.81	
21 旭川	331	1,558	26	4.79	
22 水戸	271	1,200	33	4.55	
23 鳥取	186	763	83	4.55	
24 福井	262	1,110	62	4.47	
25 柏	429	1,887	29	4.47	
26 川越	353	1,516	17	4.34	
27 越谷	346	1,465	30	4.32	
28 船橋	645	2,763	6	4.29	
29 函館	252	1,074	3	4.27	
30 福山	467	1,907	57	4.21	
31 大津	344	1,379	67	4.20	
32 寝屋川	231	949	17	4.18	
33 久留米	305	1,230	32	4.14	
34 富山	414	1,689	19	4.13	
35 豊橋	375	1,508	19	4.07	
36 八王子	562	2,248	36	4.06	
37 下関	258	977	69	4.05	
38 吳	218	794	11	3.69	
39 佐世保	246	844	40	3.59	
40 長崎	412	1,465	13	3.59	
41 姫路	534	1,882	17	3.56	
42 福島	276	897	75	3.52	
43 長野	374	1,241	59	3.48	
44 奈良	355	1,205	4	3.41	
45 横須賀	397	1,316	2	3.32	
46 山形	244	796	11	3.31	
47 八戸	226	720	26	3.30	
48 東大阪	486	1,584	19	3.30	
49 尼崎	463	1,434	41	3.19	
50 青森	278	831	44	3.15	
平均	367.5	1654.7	41.3	4.61	

出典:日本図書館協会「日本の図書館統計と名簿2022」

○島根県					
都市名	奉仕人口(千人)	個人貸出数(千冊)	団体貸出数(千冊)	1人当たりの貸出数(冊)	
1 安来	38	213	49	6.89	
2 出雲	175	1,153	42	6.83	
3 大田	34	150	34	5.41	
4 浜田	53				

令和6年度 総合計画実施計画

松江市立皆美が丘女子高等学校 皆美が丘女子高魅力化事業費

所属	事業名
松江市立皆美が丘女子高等学校	皆美が丘女子高魅力化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「より広く、より高く」の校訓のもと、 ○地域を学び地域を愛し地域社会に活力を与えるの発展を担う女性／○グローバルな感性と高い志を備えた女性／○生涯にわたって主体的に生きる女性の育成を目指す。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
事業の目的と目標	中国四国地方唯一の公立女子高として他校との差別化を図り、より一層特色を明確にして魅力を高め、高等学校に進学する受験生やその保護者に選ばれる学校を目指す。	入学者一般選抜募集定員競争率	0.86	1.00	1.00	1.00
		入学定員充足率	0.88	1.00	1.00	1.00

事業概要	(数値目標の目標年度)	
	○入学者一般選抜募集定員競争率：2030 (R12) 年度までに1.00以上	○入学定員充足率：2030 (R12) 年度までに1.00
(事業概要)		
○学科再編（普通科に総合選択制を導入・国際コミュニケーション科を新設・学校設定科目として地域密着型の課題解決型学習「まつえ学」を設定）／○部活動の充実／○高大連携・高専連携／○校名変更		

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○校名変更（R3実施済み） ○学科再編（R3実施済み） ○まつえ学コーディネーターの配置※（2名体制） ○高大（専）連携の推進 ○学校の取り組みを情報発信 ○夢サポートプロジェクト事業の実施 ○外国語大学でのキャンパス体験 ○ALTの常駐化（R6新規） ○中国・杭州との交流事業※ ほか、魅力化に必要な事項 （※は別事業費あり。）	○魅力化コーディネーターの配置※（2名体制） ○高大（専）連携の推進 ○学校の取り組みを情報発信 ○夢サポートプロジェクト事業の実施 ○外国語大学でのキャンパス体験 ○ALTの常駐化 ○中国・杭州との交流事業※ ほか、魅力化に必要な事項 （※は別事業費あり。）	○魅力化コーディネーターの配置※ ○高大（専）連携の推進 ○学校の取り組みを情報発信 ○夢サポートプロジェクト事業の実施 ○外国語大学でのキャンパス体験 ○ALTの常駐化 ○中国・杭州との交流事業※ ほか、魅力化に必要な事項 （※は別事業費あり。）
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	1,234	6,909
地方債	0	
その他	0	
一般財源	1,234	6,909
歳入合計	1,234	6,909

課題	方向性	○遠方（市外・県外）からの入学者受け入れを促進する。 ○本校の特色を明確にして学校の魅力を高める。 ○協定に基づく島根県立大との連携事業や外国語大学でのキャンパス体験など、高大（専）連携を推進する。 ○SNSを活用した情報発信や中学校での進路説明会への参加など積極的にPR活動を行う。 ○教員の独自採用は一旦休止し、県立学校との人事交流の検討を行っていく。【教育総務課】

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	女子高魅力化推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8～3月	ALT常駐化	通年	高大（専）連携の推進
	8月	外国語大学でのキャンパス体験	通年	学校の取り組みを情報発信
	6～7月	中国・杭州との交流事業		
	6～3月	夢サポートプロジェクト事業の実施		

本事業に関する主要データ

○皆美が丘女子高等学校 入学者選抜・入学者・生徒数の推移

普通科								
年度	入学定員	推薦選抜 内定者数	一般選抜 募集定員	出願者数	競争率	入学者数	入学定員 充足率	生徒数 1学年 2学年 3学年 (計)
令和元年度	90	20	70	76	1.09	90	1.00	90 76 77 243
令和2年度	90	12	78	50	0.64	66	0.73	67 88 72 227
令和3年度	90	19	71	73	1.03	90	1.00	90 66 85 241
令和4年度	90	21	69	58	0.84	77	0.86	78 88 66 232
令和5年度	90	11	79	83	1.05	90	1.00	90 76 84 250

国際文化観光課/国際コミュニケーション科

年度	入学定員	推薦選抜 内定者数	一般選抜 募集定員	出願者数	競争率	入学者数	入学定員 充足率	生徒数 1学年 2学年 3学年 (計)
令和元年度	30	0	30	15	0.50	1	0.5	18 20 22 60
令和2年度	30	5	25	17	0.68	19	0.63	19 16 19 54
令和3年度	30	4	26	8	0.31	12	0.40	12 19 15 46
令和4年度	30	3	27	21	0.78	23	0.77	23 12 18 53
令和5年度	30	4	26	7	0.27	15	0.50	15 19 11 45

【合計】

年度	入学定員	推薦選抜 内定者数	一般選抜 募集定員	出願者数	競争率	入学者数	入学定員 充足率	生徒数 1学年 2学年 3学年 (計)
令和元年度	120	20	100	91	0.91	107	0.89	108 96 99 303
令和2年度	120	17	103	67	0.65	85	0.71	86 104 91 281
令和3年度	120	23	97	81	0.84	102	0.85	102 85 100 287
令和4年度	120	24	96	79	0.82	100	0.83	101 100 84 285
令和5年度	120	15	105	90	0.86	105	0.88	105 95 95 295

*「生徒数」は学校基本調査による各年度5月1日現在の人数。

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,496	委託料	40
職員手当等	223	使用料及び賃借料	795
共済費	644	負担金補助及び交付金	447
報償費	46		
旅費	283</td		

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部生活福祉課 生活困窮者就学支援事業費

所属	事業名
健康福祉部生活福祉課	生活困窮者就学支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	生活困窮世帯で一般的に言われている「貧困の連鎖」を防止するため、対象世帯の中学校2年生、3年生に対する学習支援を行うことにより、将来の自立促進を図るもの。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画
	本事業利用生徒の高校進学率（%）	100	100	100	100
目標（何を達成するのか）				要・準要保護生徒の進学率（%）	99
「貧困の連鎖」を防止するため、対象世帯の中学校2年生、3年生に対する学習支援を行うことにより、高校進学率を高める。				事業利用者人数（人）	89
					120
					120

事業概要	本事業は、生活保護世帯を含む生活困窮世帯（要保護世帯および準要保護世帯）の中学校2年生、3年生を対象として、次に掲げる取組を、適切、公正、中立かつ効率的に実施する能力を有する事業者に委託して実施する。（国庫補助率1/2、市負担率1/2）
	①学習支援 高校受験のための進学支援、学校の勉強の復習、学習の習慣づけ
	②居場所（自習室）の提供 子どもが安心して通える場所の提供
	③進路相談等 個別の進路相談、進学に必要な奨学金などの公的支援の情報提供
	※中学校2年生は、令和6年度より対象 (数値目標の目標年度) 本事業利用生徒の高校進学率：2029(R11)年度、要・準要保護生徒（未利用）の進学率：2029 (R11) 年度、要・準要保護生徒の進学率：2029(R11)年度

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	【事業計画】 本事業利用者の高校進学率：100.0% 利用人数：89名 指導回数：生徒1人あたり全30回（夏休みとなる7月から2月までの月4回）／1回60分 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所	【事業計画】 本事業利用者の高校進学率：100.0% 利用定員：120名（中学校2年生、3年生合計） 指導回数：生徒1人あたり全30回（中学校2年生（夏休みとなる8月から3月までの月4回）／1回90分） 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒5名から10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所	【事業計画】 本事業利用者の高校進学率：100.0% 利用定員：120名（中学校2年生、3年生合計） 指導回数：生徒1人あたり全30回（中学校2年生（夏休みとなる8月から3月までの月4回）／1回90分） 指導形式：集団型（習熟度を加味したクラス編成：講師1人につき生徒5名から10名まで） 指導場所：事業者が指定する場所
	達成度	定員120名を満たすよう、関係課及び学校と連携し周知を図る	
1 計画目標に向けて順調に推移		定員120名を満たすよう、関係課及び学校と連携し周知を図る	

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	R5	R6
		決算見込	当初予算
	事業費	3,647	7,026
	国・県支出金	1,824	3,513
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,823	3,513
	歳入合計	3,647	7,026

課題	令和元年度、2年度、3年度、4年度に本事業を利用した要保護・準要保護生徒の高校進学率は100.0%であり目標を達成している。 本事業は定員100名であるが利用者が定員に達していない。 令和元年度：85名、令和2年度：71名、令和3年度：81名、令和4年度：77名	方向性	本事業の実施にあたっては、利用生徒のプライバシー保護に万全を期し、安心して利用できる学習支援を継続して行う。 本事業は令和5年度まで定員100名で実施しており、令和6年度は120名の定員で実施予定。なお、令和6年度は中学校2年生も対象予定。 定員を満たすよう、関係課と連携し周知を図る。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	生活困窮世帯の学習支援

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	プロポーザル募集開始	8月	学習指導開始（中学校2年生）
	5月	委託事業者選定・対象世帯へ事業案内送付	2月	学習指導終了（中学校3年生）
	6月	利用生徒募集・利用生徒決定	3月	学習指導終了（中学校2年生）・事業完了
	7月	学習指導開始（中学校3年生）		

本事業に関する主要データ	
【数値目標データ】	
高校進学率（令和5年3月卒業生徒）	
令和4年度	
松江市全体	98.9% (1,838人/1,858人)
■要保護生徒	85.7% (18人/21人)
内訳	
本事業利用生徒	100% (2人/2人)
本事業未利用生徒	84.2% (16人/19人)
■準要保護生徒	98.7% (228人/231人)
内訳	
本事業利用生徒	100% (75人/75人)
本事業未利用生徒	98.0% (153人/156人)

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	141		
委託料	6,885		
事業費計			7,026

令和6年度 総合計画実施計画

觀光部國際觀光課 多文化共生推進事業費

所屬	事業名
觀光部國際觀光課	多文化共生推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	多様性を尊重し、誰もが心豊かに暮らし、活躍できる多文化共生のまちづくりを推進する。 。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		多文化理解を促進する事業への参加者数		2,200	2,400	3,0
	目標（何を達成するのか）					
松江市多文化共生推進プランに基づき、「言葉の壁を乗り越えるまち」「誰もが安心して暮らし続けられるまち」「多様性を尊重し、誰もが活躍できるまち」づくりを目指す。						

事業概要	外国人住民にとっても住みやすいまちをつくるために必要な生活支援を行うとともに、松江市民との交流場をつくる。また、松江市民の国際理解を深める機会を提供する。 (1) 留学生・外国人住民支援（防災訓練、文化体験等） (2) 多文化交流イベント（交流の場づくり） (3) 国際理解講座（国際交流員や外国人住民による文化紹介講座） (4) 行政情報の多言語化 (5) 日本語教室等との協働
------	---

	R5実績見込	R6計画	R7計画
事業 計 画	<p>(1) 出前講座、自主企画講座、動画配信による国際理解講座等を実施</p> <p>(2) 外国人相談窓口を設置し、また、市政情報の多言語化などを実施</p> <p>(3) 外国人住民向け防災訓練などを実施</p> <p>(4) 多文化共生を推進するための交流イベントなどを実施</p>	<p>(1) 出前講座、自主企画講座、動画配信による国際理解講座等を実施</p> <p>(2) 外国人相談窓口を設置し、また、市政情報の多言語化などを実施</p> <p>(3) 外国人住民向け防災訓練などを実施</p> <p>(4) 多文化共生を推進するための交流イベントなどを実施</p>	
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5	R6
財源 内訳	事業費	決算見込	当初予算
	国・県支出金		12
	地方債		
	その他		14
	一般財源	0	41
	歳入合計	0	68

課題	外国人住民支援については、現状の把握や、外国人コミュニティとの人脈づくりが必要である。また、支援だけでなく、外国人住民が地域で活躍できる場づくりが必要である。	方向性	松江市多文化共生推進プランの推進を図る。
----	---	-----	----------------------

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	多文化共生推進事業

R6スケ ジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座の実施	6月	職員向けやさしい日本語研修実施
	通年	外国人住民相談窓口の設置		
	1月	多文化共生イベント実施		
	2月	外国人住民向け防災訓練実施		

令和6年度 総合計画実施計画

市民部人権男女共同参画課 男女共同参画事業

所属	事業名
市民部人権男女共同参画課	男女共同参画事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	「市民一人ひとりが性別にかかわりなく、ともに支えあい、いきいきと暮らしていける松江」の実現	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画
○性別による固定的役割分担意識の解消や男女の地位の平等感の向上など意識改革を図る。	固定的な性別役割分担意識の否定割合 (%)	79.8	80	81	82
○DVや各種ハラスメントなどあらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動と相談体制の充実を図る。	市の審議会等への女性の参画率 (%)	37.4	40	40	40

事業概要	第3次松江市男女共同参画計画（計画期間：令和4年度～8年度）を実行性のある計画とするための施策に取り組む			
	<第3次計画の3つの基本目標> ①男女共同参画意識が浸透した社会の実現 ②男女がともに活躍できる社会の実現 ③あらゆる暴力の根絶など安心して暮らせる社会の実現 <施策の一例> ①年代に応じた各種講座や出前講座を中心とした意識啓発事業 ②市民や事業所に向けたワーク・ライフ・バランスに向けた意識啓発事業 ③あらゆる暴力の防止に向けた啓発や相談体制の充実			
【数値目標説明】 成果指標「固定的な性別役割分担意識の否定割合」「市の審議会等への女性の参画率」……目標年度：令和8年度 出典：第3次松江市男女共同参画計画				

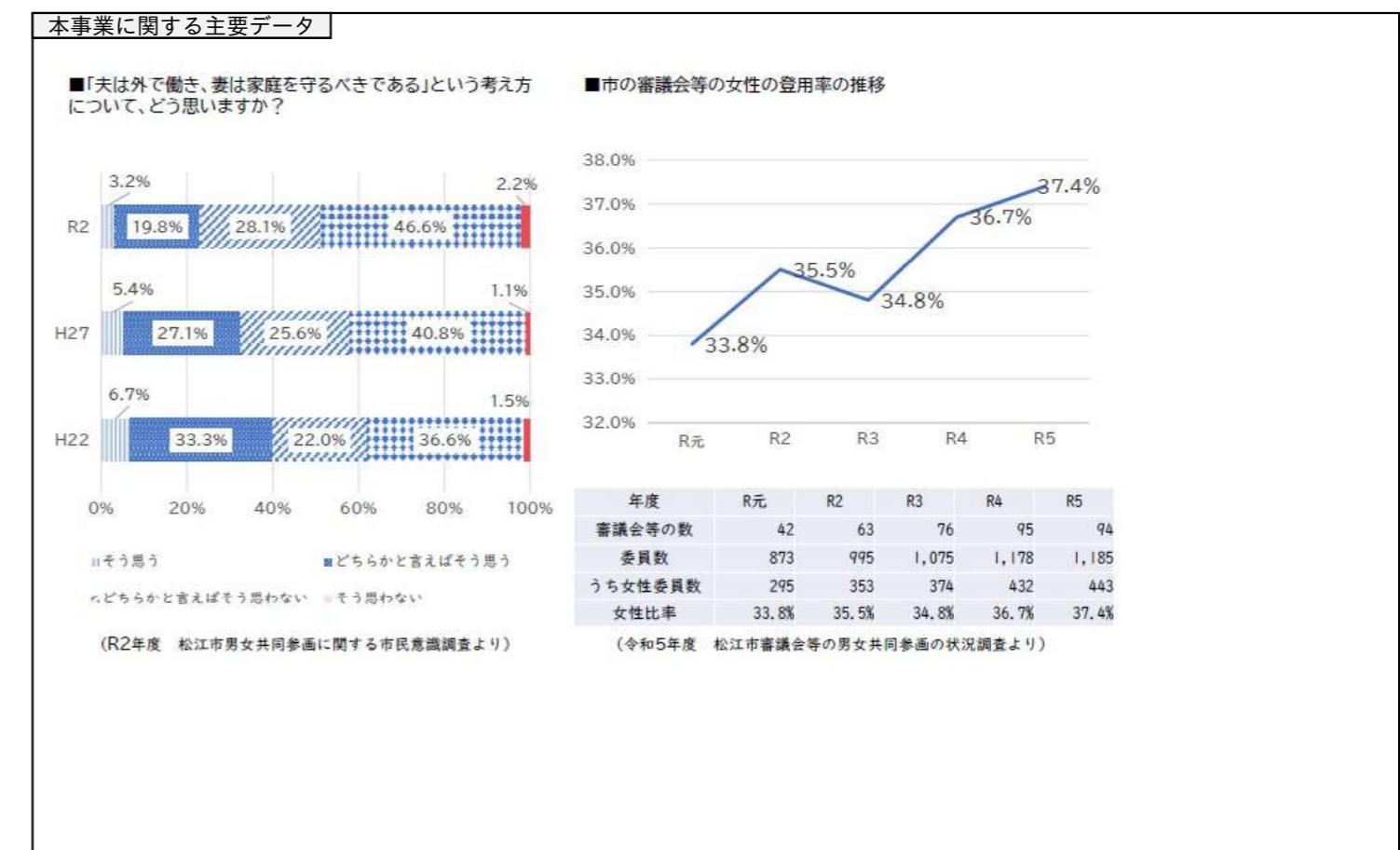
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせ、パネル展示やセミナー等による啓発を行った。 ○対象者層のニーズに応じた出前講座等を実施した。 出前講座24回、男性講座1回、両立支援セミナー1回、市民公開講座1回 ○女性を取り巻く問題解決に向け、女性相談や法律相談、カウンセリングを実施した。 ○女性活躍推進及び働きやすい職場環境づくりに向けた講演会、パネルディスカッションを開催した。	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせた、パネル展示やセミナー等による啓発の強化。 ○出前講座の実施。 ○女性相談や法律相談、カウンセリングの実施。 ○第3次松江市男女共同参画計画中間見直し。 ○「松江市審議会等における女性の登用率向上のガイドライン」の見直し。	○男女共同参画週間（6月）や女性に対する暴力をなくす運動期間（11月）にあわせた、パネル展示やセミナー等による啓発の強化。 ○出前講座の実施。 ○女性相談や法律相談、カウンセリングの実施。 ○男女共同参画に関する市民意識調査の実施。
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	11,823	11,928
国・県支出金	1,770	1,593
地方債		
その他		
一般財源	10,053	10,335
歳入合計	11,823	11,928

課題	○性別による固定的役割分担意識の解消や、あらゆる暴力の根絶など男女共同参画社会の実現するためには、幼少期から各年代に応じたきめ細やかな教育や啓発活動を行う必要がある。 ○政策決定の場における女性の参画率が不十分である。	方向性	○地域ごとに選出されている男女共同参画サポーターと連携し、その地域のニーズにあった出前講座を実施し、男女共同参画への意識浸透を図る。 ○DV等の啓発については、DV講座の開催などに合わせて、相談機関・窓口の周知を行うなど、関係団体等と連携し啓発を行っていく。あわせて、中学生や高校生など若い世代への啓発活動を強化していく。 ○政策決定の場における女性の参画率向上に向けて、ガイドラインの見直しに合わせ、女性が参画しやすい環境づくりの意識浸透を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	男女共同参画の推進

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座	11月	女性に対する暴力をなくす運動期間事業
	通年	女性相談、法律相談、カウンセリング		
	年2回程度	男女共同参画審議会		
	6月	男女共同参画週間事業		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,827	委託料	82
職員手当等	1,528	使用料及び賃借料	347
共済費	1,338	負担金補助及び交付金	235
報償費	1,278		
旅費	262		
需用費	650		
役務費	381		
事業費計			11,928

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会発達・教育相談支援センター 特別支援教育支援員配置事業費

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	特別支援教育支援員配置事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	通常の学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がい等、学習や行動上特別な支援を必要とする子どもたちに対して、学校生活への適応や学習活動の充実を図る。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画
①きめ細かな対応と校内支援体制の強化	交流学習計画授業時数の割合(%)	41	42	43	47
②学習意欲の維持・向上					
③不適応の未然防止					

事業概要	(数値目標の目標年度)
	・年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】: 2029(R11)年度
<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がい等、学習や行動上特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実のため「特別支援教育支援員」を配置する。 ・通常の学級において特別な支援を必要としている児童生徒は増加しており、校内の支援体制の確立とともに、担任を中心とした分かりやすい指導のもと、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行う。 ・事業開始: 平成19年度 	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校17人、中学校7人、義務教育学校2人 計26人配置(兼務により27校に配置) ・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,317円/時間 ・校外教育活動旅費:年間1,500円 ・研修:年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・27人配置(1人増) ・週19時間以内の勤務 ・報酬@1,317円/時間 ・校外教育活動旅費:年間1,500円 ・研修:年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する特別な支援を必要としている児童生徒は増加しており、増員を含めた適正な配置のあり方を検討し、校内支援体制の充実を図る。 ・週19時間以内の勤務
<p>達成度</p> <p>2 計画目標に向かって概ね順調</p>			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	32,954	36,200
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	32,954	36,200
歳入合計	32,954	36,200

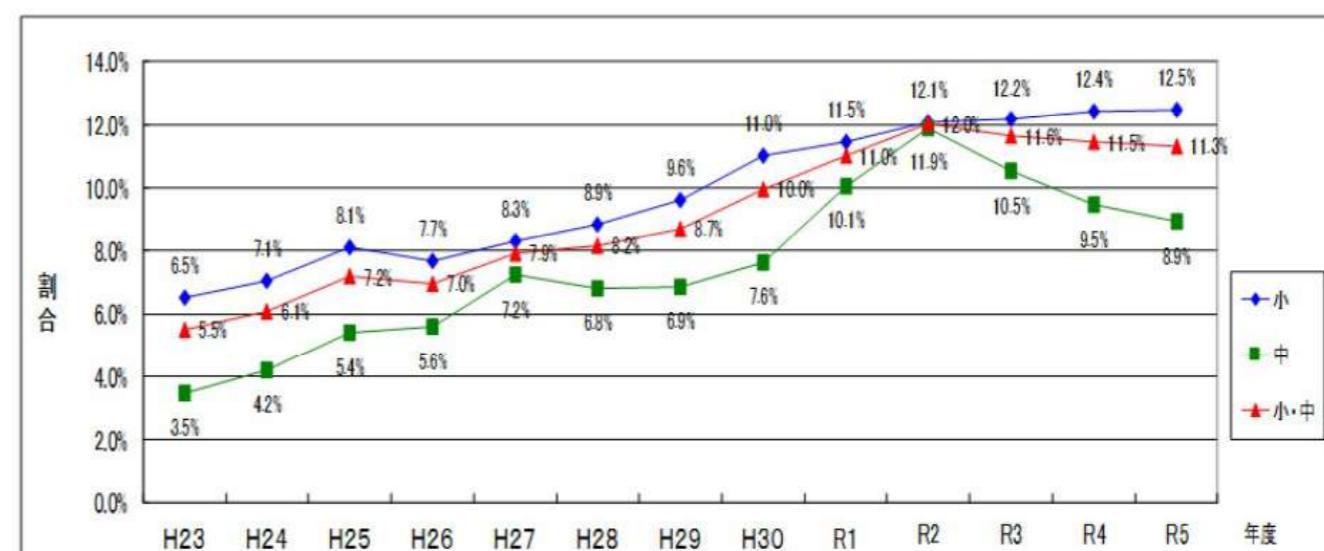
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒数は増加しており、特別支援教育支援員の配置を含め、人的な対応が必要なケースも多い。 ・校内支援体制の中での特別支援教育支援員の位置付けと、活用の在り方を明確にしていく必要がある。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援体制整備の一環として、特別支援教育支援員の役割を明確にするとともに、特別支援教育コーディネーターの資質向上を図る。 ・特別支援教育支援員の必要性やその効果について把握し、増員を含め適正な配置の在り方を検討する。 ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図るために、個別の指導計画や個別の教育支援計画の利活用を進める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	特別支援教育支援員配置事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	任用、説明会	8月～	次年度に向け配置の在り方等の検討
	5月	研修、配置校から「活用に関する計画書」提出	9月	研修
	6月～	配置校訪問	12月	研修
	7・12・3月	配置校から「支援状況報告書」提出	3月	次年度配置校決定

本事業に関する主要データ

△通常学級における特別な支援が必要な児童生徒の割合



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	27,326		
職員手当等	7,562		
共済費	117		
旅費	1,195		
事業費計			36,200

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会発達・教育相談支援センター	発達・教育相談支援センター運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	障がい等による子どもたちの生活や学習上の困難さに早期に気づき、切れ目のない相談体制のもと適切な支援につなげる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
①異なる専門性（教育、保健、福祉、医療）の高度な連携【連携強化】	就学支援に対する保護者の納得度割合（%）	85	90	90	92	
②選択可能な学びの場や支援体制の整備の充実【支援拡充】	進路選択に対する生徒の満足割合（%）	85	90	90	90	
③まわりの大人の子ども理解力の向上と共生社会意識の醸成【意識転換】	交流学習計画授業時数の割合（%）	41	42	43	47	

事業概要	(数値目標の目標年度)
	・就学支援の納得度の割合【発達・教育相談支援センターが就学支援に関わった保護者へのアンケート】：2029（R11）年度
・中学校3年生特別支援学級在籍生徒の進路選択に対する満足割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度	
・年間授業時数のうち特別支援学級と通常の学級の児童生徒の交流学習計画授業時数の割合【各年5月1日時点】：2029（R11）年度	
・発達・教育相談支援センター「エスコ」は、教育を中心に保健・福祉・医療等との連携を深め、乳幼児期から一貫した相談支援を実施している。幅広い発達段階や多様な障がいの状況等を有するケースに対応しており、適切な実態把握や丁寧で継続した相談対応、効果的な療育を実施すること等が求められている。	
・専門スタッフの入件費、電話代等、センター運営にかかる諸経費。	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・相談支援体制の一層の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人役増（31時間）とした。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。	・相談支援体制の一層の充実を図るため、教育指導講師（会計年度任用職員）を1人増とする。 ・教育・保健・福祉・医療等関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。	・教育・保健・福祉・医療等関係機関と連携し、早期からの切れ目のない相談支援体制を充実させる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・特別支援教育推進計画に沿って、学校、園等現場の相談支援体制の整備を進める。
達成度	【その他財源内訳】 子ども発達支援事業費県補助金 2,500千円		
2 計画目標に向かって概ね順調			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	41,869	47,733
国・県支出金		2,500
地方債		
その他		0
一般財源	41,869	45,233
歳入合計	41,869	47,733

課題	・相談件数は、年間4,000件前後で推移しており、相談内容も年々複雑化している。今後も更に困難なケースの増加が予想される。（R4年度は、保健所対応により新規の相談申込を一時停止したため件数が減少した。） ・困難なケースへの対応、関係機関との連携、早期の気づきに応じた適切な助言指導及び効果的な療育等が求められており、スタッフの高い専門性の維持が必要である。	方向性	・困難なケースの増加に対応するため、教育、保健、福祉、医療等との連携強化を図り支援にあたる。 ・学校、園等現場の支援力の向上とそれを支える体制の充実に向けて、計画的な研修や訪問指導等を進める。 ・「松江市特別支援教育推進計画（2023～2025）」に沿って、学校、園等現場の支援体制の整備を進める。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	ここに生まれてよかった　ここで育ててよかった
	主要施策	発達・教育相談支援センターの運営
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	特別支援教育コ-ティネーター説明会、研修	9月下旬	特別支援教育コ-ティネーター研修
	4月～	専門巡回相談、就学相談の申込受付開始	11月末	就学相談申込受付締切
	6月～	専門巡回相談、就学相談の実施	12月末	専門巡回相談申込受付締切
	6～3月	特別支援教育就学審議会（月1回、10回開催）	2～3月	次年度の各種相談、特別支援教育コ-ティネーター研修等検討

本事業に関する主要データ							
幼児児童生徒等別相談件数の状況							単位:件
	幼児	小学生	中学生	高校生	成人	合計	
H23	711 1,247	536 516	475 127	41 181	106 78	21 83	2,071
H24	945 1,929	984 742	621 292	121 161	244 72	48 50	3,124
H25	1,319 2,153	834 720	613 380	107 122	322 16	58 35	3,375
H26	1,392 2,770	1,378 720	635 311	85 51	273 42	38 22	3,852
H27	1,463 2,928	1,465 903	824 416	79 34	374 61	42 19	4,281
H28	1,480 3,283	1,803 897	776 383	121 38	322 38	61 19	4,601
H29	1,242 2,891	1,649 1,061	941 290	120 26	213 77	12 14	4,268
H30	969 2,545	1,576 1,076	933 227	143 7	182 45	3 4	3,855
R1	1,036 2,638	1,602 1,287	1,127 240	160 58	182 8	3 3	4,176
R2	950 2,250	1,300 1,341	1,038 227	303 72	155 3	1 1	3,822
R3	832 2,073	1,241 1,419	1,146 214	273 43	171 2	3 1	3,711
R4	755 1,912	1,157 1,217	904 240	313 5	168 1	72 6	3,375

【通常】通常の学級に在籍する児童生徒、【特学】特別支援学級に在籍する児童生徒の相談件数

共創の状況	その他（協力、連携など）																																				
R6節別当初予算額内訳（千円）																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>節名称</th> <th>金額</th> <th>節名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>28,321</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>8,015</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>6,721</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>932</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>117</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>318</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>3,309</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td></tr> <tr> <td colspan="2">47,733</td></tr> </tbody> </table>		節名称	金額	節名称	金額	報酬	28,321			職員手当等	8,015			共済費	6,721			旅費	932			需用費	117			役務費	318			負担金補助及び交付金	3,309			事業費計		47,733	
節名称	金額	節名称	金額																																		
報酬	28,321																																				
職員手当等	8,015																																				
共済費	6,721																																				
旅費	932																																				
需用費	117																																				
役務費	318																																				
負担金補助及び交付金	3,309																																				
事業費計																																					
47,733																																					

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会学校教育課 「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費

所属	事業名
教育委員会学校教育課	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標				
	ふるさとを愛し、主体的に自己の将来を考える子どもの育成。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		職業人出前授業 小5～中3の受講割合(%)	44.2	45	46	5
	目標(何を達成するのか)	地域や社会に関心のある小6の割合(%)	71	73	74	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・松江城などの地域資源を活用したふるさと松江に愛着と誇りを持つ教育を推進する。 ・子どもたちがふるさとに誇りと豊かさを感じ、主体的に社会人としての進路を選択する能力開発を推進する。 	地域や社会に関心のある中3の割合(%)	61.5	64	66	8

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 職業人出前授業小5～中3の受講割合：2029（R11）年度 項目名 地域について考えている小6、中3の割合：2029（R11）年度
	<ul style="list-style-type: none">・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」（職業人出前授業）、「いきいきゲーム」（起業家教育プログラム）の推奨や、中学生の社会体験（職場体験）学習の支援等を通して、学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図る。・ふるさと教育の充実を図るため、国宝松江城を小・義務教育学校6年生の共通教材とした学習「松江城授業」を実施する。

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」を34校（小20校、中14校）で実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」を7校20クラスで実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」の実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」の実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まつえ『子ども夢☆未来』塾」の実施。 ・小6を対象とした「松江城授業」の実施。児童向けハンドブックの配付。 ・小5・6を対象とした「いきいきゲーム」の実施。 ・職場体験学習受け入れ事業所の取りまとめと学校への情報提供。

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R5	R6
財源内訳	事業費	決算見込	当初予算
	国・県支出金	0	(1)
	地方債	0	(1)
	その他	3,193	4,673
	一般財源	0	(1)
	歳入合計	3,193	4,673

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会の中で自立した生活ができる人材を育成するためには、キャリア教育・ふるさと教育を推進し、社会人になるための基礎的な力を育てることが必要である。 ・引き続き、ふるさとにある「ひと・もの・こと」といった教育資源を活用した体験活動の充実を図っていくことが必要である。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育による発達の段階に応じた系統的なキャリア教育・ふるさと教育を展開し、地域の教育力を生かした学校教育活動を引き続き推進する。 ・多様な職種や価値に觸れさせるために、時代や学校、子どものニーズに応じたセンター構成を模索する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	夢は叶うって思う
	主要施策	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業
第2次総合戦略	基本目標	
	重点プロジェクト	
	KPI	

R6スケ ジュー ル	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～12月	「松江城授業プロジェクト」の実施		
	5月～12月	「まつえ『子ども夢☆未来塾』」の実施		
	6月～2月	「いきいきゲーム」の実施		

本事業に関する主要データ

- まつえ「子ども夢☆未来」塾
R1 年度 33校（小21校・中12校）において実施
R2 年度 37校（小23校・中14校）
R3 年度 33校（小18校・中15校）
R4 年度 33校（小20校・中13校）
R5 年度34校（小20校・中14校）
 - 松江城授業
H28年度より、全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施。
 - 職場体験学習
R1年度 全市立中学校3年生、義務教育学校9年生を対象に実施。
R2年度 4校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から13校が中止。
R3年度 8校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から9校が中止。
R4年度 11校において実施。新型コロナウイルス感染症の影響から6校が中止（中止の内5校は事業所を呼び、職業についての講話を聞く）。
R5年度 17校において実施。中止校はなし。
 - いきいきゲーム
H30年度 6校10クラス【朝酌小、来待小、母衣小、宍道小、持田小、忌部小】において実施。
R1 年度 4校10クラス【乃木小、持田小、古江小、来待小】
R2 年度 11校15クラス【法吉小、持田小、忌部小、生馬小、古江小、大野小・秋鹿小（合同実施）、恵曇小、揖屋小、意東小、八束学園】
R3 年度 7校16クラス【母衣小、出雲郷小、乃木小、大野小・秋鹿小（合同実施）、鹿島東小、八雲小】
（川津小の4クラスは新型コロナウイルス感染防止の観点から中止）
R4 年度10校18クラス【母衣小、恵曇小、八雲小、出雲郷小、意東小、法吉小、来待小、古江小、島根小、持田小】
R5 年度 7校20クラス【古志原小・八雲小・乃木小・忌部小・川津小・八束学園・玉湯学園】
※「いきいきゲーム」とは「児童が楽しみながら社会の仕組みを体験する中で、起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）や起業家の資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション能力等）を養う事業」である。
※「いきいきゲーム」は希望校を募る形で実施している（小学校5、6年生対象）。今後も引き続き各校への呼びかけを行い、新規の学校について優先的に採択するなどの対応を取っていく（現状は希望校多数のため、希望校全体で実施できていない状況。R5年度は 13校応募）。クラス数単位での実施。

共創の状況	その他（協力、連携など）		
R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	161		
需用費	242		
委託料	985		
使用料及び賃借料	3,285		
事業費計		4,673	

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会生涯学習課 公民館管理費

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館管理費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	公民館の適正な維持管理	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画
		目標値	700,000	800,000	900,000
目標（何を達成するのか） 社会教育施設並びに地域の拠点として住民にとって利用しやすい施設となるよう、必要な保守点検管理や修繕等を行う。また、地域を主体とする公民館運営を推進する。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 公民館年間利用者数（人）：2029（R11）年度				
	指定管理制度により、地域に根ざした（地域特性やニーズに応じたきめ細かな）公民館運営を行う。				
	公民館の維持管理にかかる経費 [指定管理] 市内29公民館について、公設自主運営方式により、市からの指定管理料と地元費により運営する。				

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	・市内29公民館を指定管理者制度により運営した。 ・優秀な人材を安定的に確保・育成するため、公民館職員の処遇改善について検討し、R6年度より学歴、職歴の経験年数換算制度の導入、超過勤務制度の確立、休暇制度の充実を図ることとした。	・市内29公民館を指定管理者制度により運営する。	・市内29公民館を指定管理者制度により運営する。
	達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	632,160	686,197
地方債	0	0
その他	84	98
一般財源	632,076	686,099
歳入合計	632,160	686,197

課題	・建築後35年以上経過する公民館が7館あり、全体的に施設の老朽化が進行している。	方向性	・修繕については、緊急性等により優先順位をつけて隨時実施する。 ・老朽化が進む施設については、改修や移転等について検討・調整を行う。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	公民館の管理

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ	
松江市公民館の設置状況（令和6年4月1日現在）	

1. 指定管理者の管理する公民館（29公民館）
城東公民館／城北公民館／城西公民館／白瀬公民館／朝日公民館／雜賀公民館／津田公民館／古志原公民館／川津公民館／朝酌公民館／法吉公民館／竹矢公民館／乃木公民館／忌部公民館／大庭公民館／生馬公民館／持田公民館／古江公民館／本庄公民館／大野公民館／秋鹿公民館／鹿島公民館／島根公民館／美保関公民館／八雲公民館／玉湯公民館／宍道公民館／八束公民館／東出雲公民館

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	1,400		
委託料	683,099		
使用料及び賃借料	1,462		
負担金補助及び交付金	236		
事業費計			686,197

令和6年度 総合計画実施計画

教育委員会生涯学習課 公民館振興事業費

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公民館における生涯学習、社会教育活動の推進	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		公民館年間利用者数（人）	700,000	800,000	900,000	1,000,000
	目標（何を達成するのか）					
公民館における社会教育事業に対して経費を支出、助成する。						

事業概要	公民館を中心とした市民の自発的・自主的なグループ活動やサークル活動の学習成果発表の場としての市民学習発表会、及び広域地域の課題に対応する事業としてのブロック事業を実施し、市民の地域間交流を深め、また生涯学習を推進するもの。
	<p>■公民館の事業にかかる経費。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民学習発表会委託料 1,880千円

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	決算額見込み 市民学習発表会等委託料 1,880千円	計画 市民学習発表会等委託料 1,880千円	計画 市民学習発表会等委託
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込 1,880	当初予算 1,880
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,880	1,880
歳入合計	1,880	1,880

課題	開催にかかる公民館の事務負担の軽減	方向性	従前からの事務事業の進め方を研究し、館長会と相談しながら、開催内容や運営方法等について検討していく。
----	-------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	公民館振興事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
本事業に関する主要データ				

令和5年度市民学習発表会の開催状況			
ブロック	会場	日程	内容
松東ブロック	島根中学校体育館	11月19日 (日) PM	ステージ発表 模擬店
中央ブロック	市民活動センター	11月18日 (土) PM	ステージ発表
松北ブロック	鹿島文化ホール	11月25日 (土)	ステージ発表 模擬店
松南ブロック	八雲アルバホール	11月25日 (土) PM	ステージ発表 模擬店
湖南ブロック	玉湯公民館	11月25日 (土) AM	ステージ発表 模擬店

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,880		
事業費計			1,880

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康福祉総務課 重層的支援体制整備事業費

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	重層的支援体制整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域の住民や多様な主体が参画し、人や資源が世代や分野を超えてつながることで、住民の暮らしと生きがい、地域を創る地域共生社会の実現を目指す。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
目標（何を達成するのか）	※サテライト含む	ふくしなんでも相談所の設置数	47	43	55	72
複雑化・複合化した課題に的確に対応するための包括的・総合的な相談支援体制を構築する。 また、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築する。						

事業概要	地域住民の複雑化、複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築に向けて、既存の分野別（介護、障がい、子ども、生活困窮）事業に、新たに分野横断的な取り組みを加え「Ⅰ相談支援、Ⅱ参加支援、Ⅲ地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する。 分野別で行う既存の相談支援や地域づくりの取組はそれぞれの事業で継続して予算化し実施する。 分野横断的な事業（本予算）は、これまでの地域共生モデル事業（H29～R2年度）の取組を発展させ、複雑化した課題や制度の狭間の課題に対応するため、オーダーメイドの支援プランを作成する等、多機関が連携する体制の構築や支援を行う。 運営主体は、これまで様々な分野で相談支援等を担ってきた松江市社会福祉協議会へ委託。 [数値目標の目標年度] ふくしなんでも相談所の設置数：2029（R11）年度

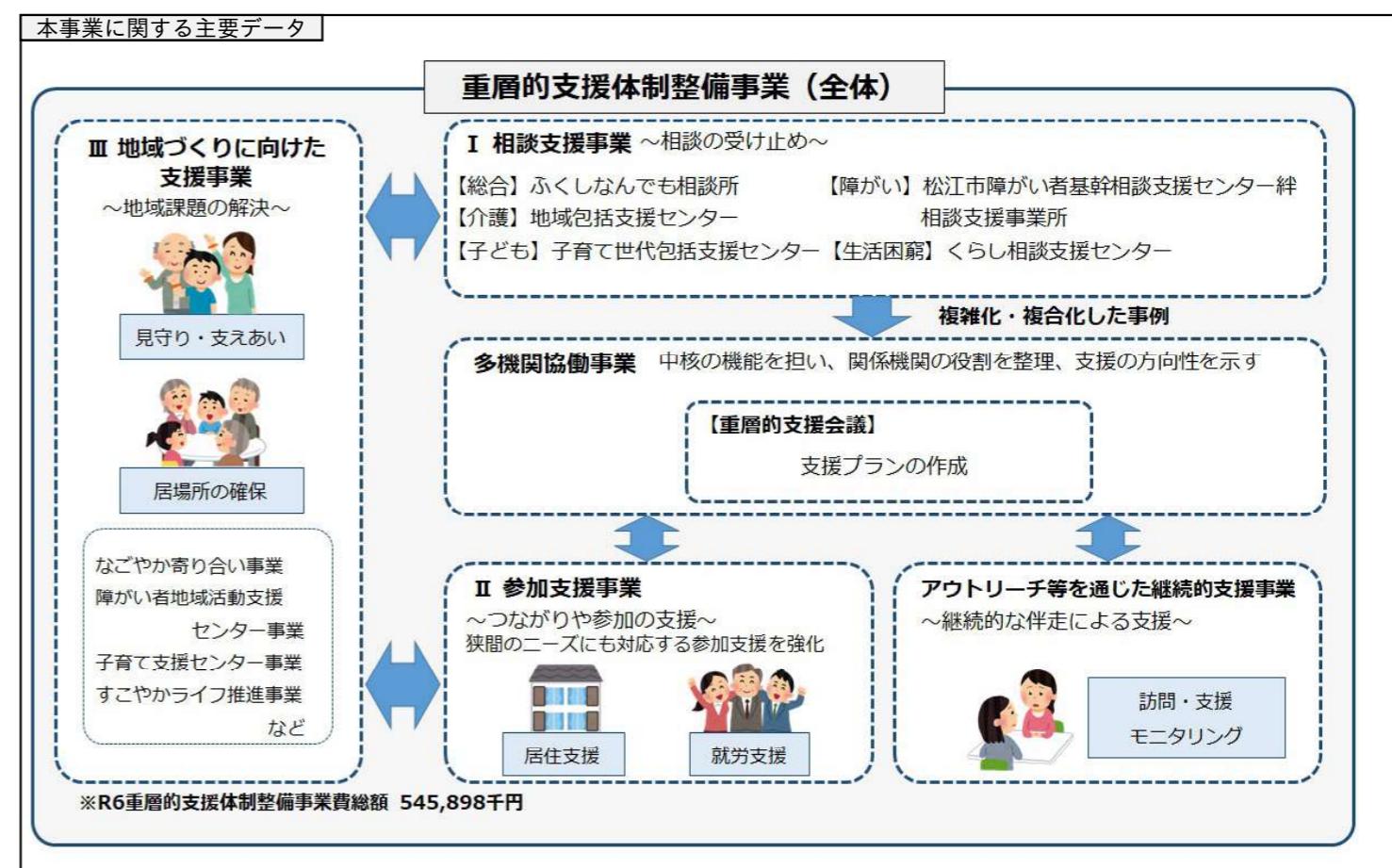
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる地域生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進めた。 単独の相談支援機関では対応が難しい事例を重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成した。 必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援を取り組んだ。 地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きあらゆる生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進める。 単独の相談支援機関では対応が難しい事例を重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成する。 必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援を行う。 地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きあらゆる生活課題に対応するため、福祉や医療、司法等さまざまな関係機関と連携し、包括的な対応を進める。 単独の相談支援機関では対応が難しい事例を重層的支援会議で支援の方向性を整理、プランを作成する。 必要な支援が届いていない方へのアウトリーチを継続して実施し、対象者のニーズに沿った支援を行う。 地区社協が行う住民主体の地域づくり事業への支援。
達成度	2	計画目標に向かって概ね順調	

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	37,909	37,726
国・県支出金	25,970	25,878
地方債	0	0
その他	0	0
一般財源	11,939	11,848
歳入合計	37,909	37,726

課題	住民の抱える生活、福祉課題は複雑化、複合化している。そのニーズに対応するため、相談支援体制の強化を図る必要がある。 現在、地域包括支援センター等に「ふくしなんでも相談所」を開設しているが、住民がより身近な地域で相談できる体制をつくるとともに、複合的な課題について多機関と連携して支援を行っていく必要がある。	方向性	住民のより身近なエリアでの相談支援体制の構築を目指すとともに、単独の支援機関では難しい複合化した課題、既存の取組では対応できない狭間のニーズに対応し、多機関と連携して包括的な支援を行う。 また、引き続き、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を維持していく。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	重層的支援体制整備事業（包括的な支援体制の整備）

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ふくしなんでも相談所の運用・周知	通年	地域づくりに向けた支援事業の実施
	通年	多機関協働事業の実施		
	通年	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施		
	通年	参加支援事業の実施		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	37,726		
事業費計			37,726

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康福祉総務課 要配慮者支援推進事業費

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	要配慮者支援推進事業費

事業の目的と目標	目的(何のために)	数値目標			
	要配慮者(高齢者や障がいのある方など)が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくために、平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作ること(要配慮者支援組織の設置)を目的とするもの。	項目(成果指標)	R5実績見込	R6計画	R7計画
	目標(何を達成するのか)	世帯カバー率(%)	(※1)	44.7	70.0
	世帯カバー率70%を目標とする。				

事業概要	要配慮者(高齢者や障がいのある方など)が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくように、地域コミュニティ(共助)を活用した平常時及び災害時の支援体制を構築することを目的に、各地域の実情に応じた要配慮者支援組織の立ち上げを推進している。その支援組織の立ち上げ並びに運営について補助を行っている。
	○これまでの経過 平成23年度から要配慮者支援組織の設置を推進してきている。平成28年度には、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者(※2)名簿を作成し、平成29年度には、平常時から名簿情報の提供について同意のあった避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者(※3)が地域内の配慮者の把握に活用できるよう提供を開始した。(※1) 世帯カバー率：組織の活動範囲に含まれる世帯数／住基世帯数
	(数値目標の目標年度) 要配慮者支援組織世帯カバー率：2029(R11)年度

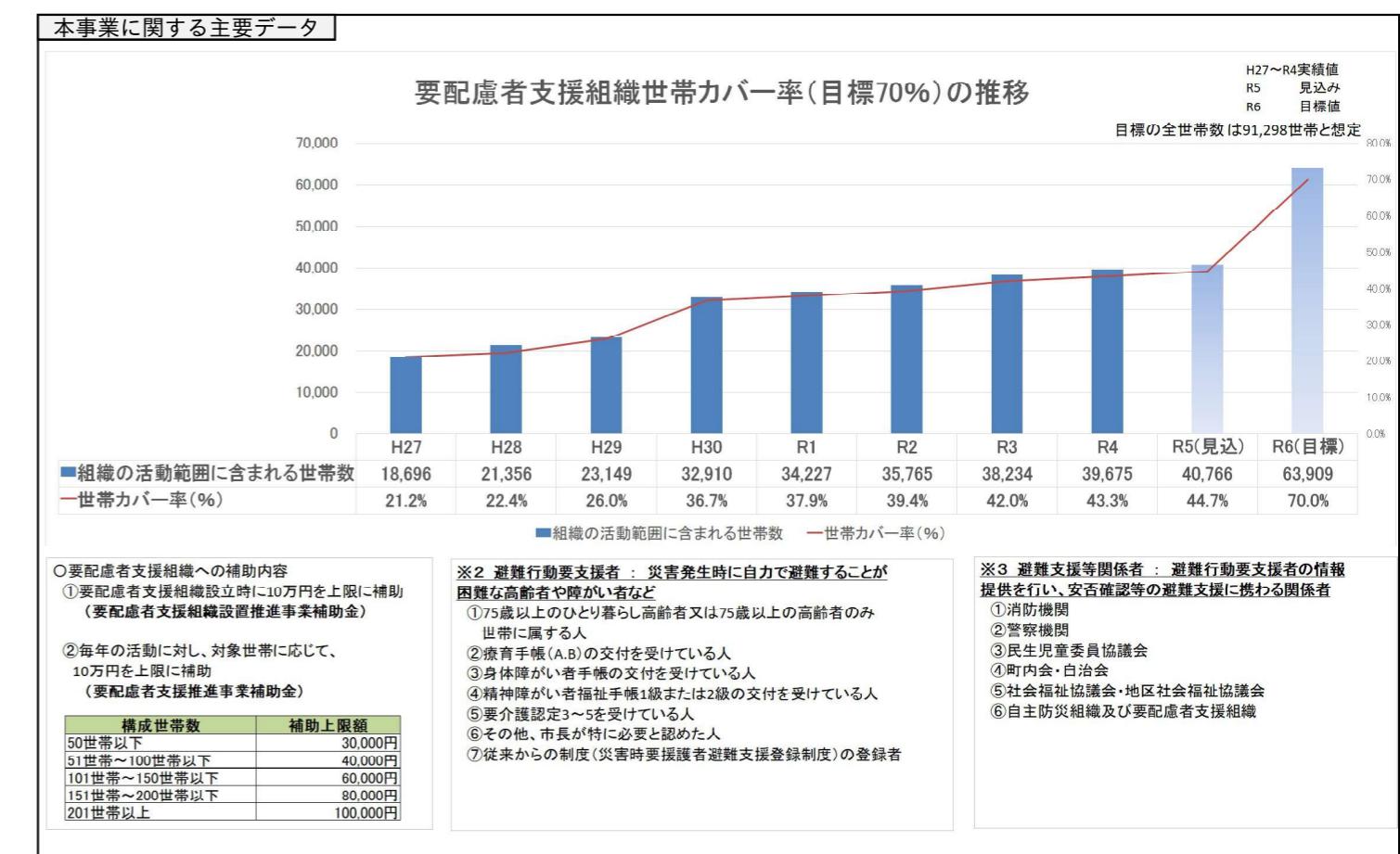
事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	令和5年度 世帯カバー率44.7%	令和6年度 世帯カバー率70%	令和7年度 世帯カバー率70%
	新規設置組織数 8組織		
	累計設置組織数 218組織 (1組織解散)		
	達成度		
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位:千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込 10,832	当初予算 11,999
国・県支出金		0
地方債		
その他	1,236	1,123
一般財源	9,596	10,876
歳入合計	10,832	11,999

課題	・地域によって組織設置の状況が異なるため、設置が進んでいない地域に対し、より積極的に事業推進を図る必要がある。	方向性	・自治会や自主防災組織など地域にある住民組織の役割も踏まえて、要配慮者支援組織の目的や役割を丁寧に説明する必要がある。引き続き前講座や説明会を通じて、他地区での取組事例や、組織の設立・運営に対する本市の補助制度などを紹介することで、組織の設置を進める。
			・引き続き公民館単位での組織化の提案等、地域の実情に応じた働きかけをしていく。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	要配慮者支援推進事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	組織拡大の取り組み(説明会等の開催)		



R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	70		
負担金補助及び交付金	11,929		
事業費計			11,999

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康福祉総務課 松江市まめなかポイント事業費

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	松江市まめなかポイント事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防の促進と活躍の場の拡大及び地域活動・ボランティア活動の推進を行うことを目的とするもの。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		ボランティア登録者数（人）	108	300	300	300
	目標（何を達成するのか）					
地域活動・ボランティア活動に参加する個人及び団体数を増加させるもの。						

事業概要	松江市まめなかポイント事業は、平成29年5月より、介護保険制度の総合事業の一般介護予防事業の一つとして、松江市社会福祉協議会に委託し事業を開始した。 ※財源：介護保険料50%、国25%、県12.5%、市（一般財源）12.5%	
	この事業の内容として、次の活動につき換金可能なポイントを付与することにより、介護予防への意識の高揚、元気高齢者の社会参加につなげるもの。 ①65歳以上の市民がボランティア受入施設（社会福祉施設等）においてボランティア活動を行った場合に、その個人に対し、ポイントを付与するもの。 ②なごやか寄り合い事業を実施する団体のうち、まめなかポイント事業に登録した団体に対し、1回の活動につきポイントを付与するもの。	

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 108人 ・なごやか寄り合い登録団体 201団体 ・対象受入施設の拡充 新規9施設（老健/こども食堂/子育て支援センター） ・施設拡充による新規登録者 18人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 300人 ・事業説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 300人 ・事業説明会の実施
達成度			
3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5	R6
事業費	決算見込	当初予算
国・県支出金	6,685	6,881
地方債	2,507	2,580
その他	3,343	3,441
一般財源	835	860
歳入合計	6,685	6,881

課題	・事業の概要、活動内容及び利点などについて、事例等を用いてわかりやすく周知していく必要がある。	方向性	・事業を委託している社会福祉協議会と共に、登録数増加をめざす。
			<ul style="list-style-type: none"> ・登録していただける可能性がある方が参加する研修会や行事等を積極的に活用し、制度を広く周知する。 ・活動の場となる受入施設を拡充する。

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	ボランティアポイント事業（ボランティア活動に参加しやすいまちづくり）

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ				
1. 登録状況について				
令和5年度実績(見込)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者数 108人 ・ボランティア受入施設数 52施設 ・なごやか寄り合い登録団体数 201団体 				
2. ボランティアポイント制度について				
(1) ポイントの額：100ポイントを100円に交換				
<ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉施設等でのボランティア活動（個人活動） ボランティア個人登録者が社会福祉施設等においてボランティア活動を実施した場合、その個人登録者に対し、1時間あたり100ポイントを付与する。 				
<ul style="list-style-type: none"> 但し、1日の上限を200ポイント、年間の上限を5,000ポイントとする。 				
<ul style="list-style-type: none"> ②なごやか寄り合い事業（団体登録） なごやか寄り合い事業登録団体がなごやか寄り合い事業を実施した場合、その登録団体に対し、1回あたり1,000ポイントを付与する。 				
<ul style="list-style-type: none"> 但し、年間の上限を10,000ポイントとする。 				
(2) ポイントの交換：年度末（3月）に現金と交換				
3. 社会福祉施設等での主なボランティア活動内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・衣類のたたみ、仕分け ・洗濯物の仕分け ・行事の補助 ・体操指導 ・話し相手 ・レクリエーション ・コーラス ・外出時の補助 ・囲碁、将棋の相手 				

R6節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	6,881		
事業費計			6,881

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康福祉総務課 シルバー人材センター運営費補助金

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	シルバー人材センター運営費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標					
	定年退職後等の高年齢者に対し、自己の経験や知識を活かした仕事を提供し、生きがい充実や社会参加の促進を図る。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値	
		シルバー人材センター加入者数（人）	980	1,020	1,065	1,150	
		受託事業契約金額（千円）	331,500	338,130	344,893	358,820	
目標（何を達成するのか）		派遣事業契約金額（千円）	85,391	89,661	94,144	103,790	
シルバー人材センター加入者および契約金額の増							

事業概要	<p>定年退職後等において、臨時的な就業を通して自己の経験や知識を活かし、自らの生きがいの充実または社会参加を希望する高齢者に対して就業機会を確保し、高齢者福祉の向上を図るためにシルバー人材センターの運営費を補助する。</p> <p>根拠法令等 「松江市高年齢者就業機会確保事業費等補助金交付要綱」</p> <p>(数値目標の目標年度) シルバー人材センター加入者数（人）、受託事業契約金額（千円）、派遣事業契約金額（千円）：2027(R9年度)（第六次中期事業計画（公益社団法人松江市シルバー人材センター作成、計画期間は令和5年度から令和9年度）における目標値）</p>
------	---

事業 計 画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
	補助金交付予定額 29,678千円 会員数 980人 受託事業契約金額 331,500千円 派遣事業契約金額 85,391千円	補助金交付予定額 31,126千円 会員数 1,020人 受託事業契約金額 338,130千円 派遣事業契約金額 89,661千円	補助金交付予定額 令和6年11月末の事業実績に基づき算定するため未定 会員数 1,065人 受託事業契約金額 344,893千円 派遣事業契約金額 94,144千円

歳入・歳出の推移(単位:千円)		R5	R6
財源 内訳	事業費	決算見込	当初予算
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	798	
	一般財源	29,678	31,800
	歳入合計	30,476	31,800

課題	高齢者にふさわしい仕事を受注し、会員の希望や能力に応じた仕事を提供するためには、企業等のニーズ把握や人材マッチングを効果的に行う必要がある。	方向性 就業先や新規事業等の開拓、人材マッチング等を行なうコーディネーターを配置し、就業機会の拡充を図る。 Web入会システムの導入や会員専用ホームページによる就業情報や情報伝達のデジタル化、ホームページのリニューアルを実施。会員のデジタル化対応を支援するため、スマホ教室等を開催する。
----	--	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	高齢者や障がい者の活躍の場推進事業

R6スケ ジュー ル	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付申請		
	5月	第1回補助金交付		
	10月	第2回補助金交付		
	3月～	清算・実績報告		

本事業に関する主要データ

会員数と平均年齢

期間	会員数(人)	平均年齢(歳)
H30	720	74.0
R1	801	73.8
R2	879	73.7
R3	896	73.8
R4	894	74.0
R5見込	980	73.9

契約金額の推移

期間	合計額(千円)	受託事業(千円)	派遣事業(千円)
H30	371,651	340,398	31,253
R1	373,925	333,609	40,316
R2	354,561	302,647	51,914
R3	386,608	322,257	64,351
R4	396,827	315,502	81,325
R5見込	416,891	331,500	85,391

令和6年度 総合計画実施計画

健康福祉部障がい者福祉課 障がい者の活躍の場づくり推進事業費

所属	事業名
健康福祉部障がい者福祉課	障がい者の活躍の場づくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
		項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画
	障がいのある方が、社会の中で就労し自分らしく活躍できるよう体制を整える。	障がい者雇用率(松江)	2.57	2.69	2.74
	目標（何を達成するのか）	障がい者雇用率達成事業所割合(松江)	66.4	67.5	68.0
	求職者の適性にあった就労を、関係機関と連携して支援する。				70.

事業概要	○障がいのある方が社会で活躍できるよう、市独自の就労支援策の検討を行う。なお、関係機関との役割整理、意見聴取、調査等を踏まえ制度を具体化する。 ①ハローワークなどの就労支援機関と連携し、本人の特性、能力に合った就労の増、また就労定着が図れる支援策の検討。 ②障がい者雇用が増えるよう企業等への啓発を行う。 ③就労を希望する障がいのある人が、本人の希望、障がい特性や能力に適した就労への支援の強化として導入される「就労選択支援」（令和7年10月施行予定）について、新制度を想定した就労アセスメント（就労能力等の評価）のノウハウを培うため、市内就労支援機関とともに松江市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会の下部会議として「就労アセスメントワーキングチーム」を設置し、効果的な制度導入を支援する。
	（数値目標の目標年度） 項目名：障がい者雇用率（松江）及び障がい者雇用率達成事業所割合（松江）：2029（R11）年度

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
	<p>○新制度「就労選択支援」を見据え、就労支援機関と合同で市独自のワーキングチームを立ち上げ、新制度での運用を想定した就労アセスメントの試行を行った。併せて試行結果について事業所向けの報告会を行うとともに、市内事業所の新制度導入に向けての意識喚起を行うことができた。また、厚生労働省の新制度モデル事業にも協力するとともに、新制度の最新情報について隨時受領できた。</p>	<p>○「就労アセスメントワーキングチーム」を継続し、アセスメントの試行と併せ、新制度導入に係る市内事業所へのフォローワークショップの開催や一般・福祉事業所の意見交換会など開催し、課題の共有や雇用への理解を図る。</p>	<p>○「就労アセスメントワーキングチーム」を継続し、アセスメントの試行と併せ、新制度導入に係る市内事業所へのフォローワークショップの開催や一般・福祉事業所の意見交換会など開催し、課題の共有や雇用への理解を図る。</p>

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5 決算見込	R6 当初予算
財源 内訳	事業費		0
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源		0
歳入合計			0

課題	<p>○国による障がい雇用に係る法定雇用率の見直しがあり、事業所においては一層の障がい者雇用が求められる状況に対し、新制度の円滑な導入を図り、また就労のマッチングに資する取組が必要となる。</p>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、「就労アセスメントワーキングチーム」を継続し、市内事業所への新制度の円滑な導入を図る。 ・国等と連携し、就労マッチングに資する取組みとして、面談会、一般・福祉事業所との意見交換会などを実施する。その他、資する事業についても検討を継続する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	高齢者や障がい者の活躍の場推進事業

R6スケ ジュー ル	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	就労アセスメントワーキングチームの開催		
	5月	一般・福祉事業所の意見交換会（島根労働局と共に）		
	時期未定	面談会（島根労働局と共に）		

本事業に関する主要データ

◆ハローワーク松江管内の状況 ※各年度6月1日時点

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
雇用義務事業所数	205	209	211	213	235	231	238	249	247
	雇用率達成企業数	113	120	125	131	145	152	156	163
	達成割合	55.1%	57.4%	59.2%	61.5%	61.7%	65.8%	65.5%	66.4%
	未達成企業のうち 1人不足する企業数	66	63	63	64	66	57	66	65
雇用障がい者数	605	719.5	714	710	821	818.5	881	913.5	889.5
雇用率	2.00%	2.09%	2.10%	2.09%	2.33%	2.32%	2.49%	2.59%	2.57%
法定雇用率(民間企業)	2.0%				2.2%			2.3%	
障がい者雇用義務事業者	従業員50人				従業員45.5人			従業員43.5人	
有効求職者(月平均)	418	418	508	584	556	664	818	950	1,039
就職件数(月平均)	22	26	26	28	30	30	25	27	29

*毎年6月1日時点の数値。なお障がい者雇用の報告義務のある一定規模以上の事業所に係る情報

○就労アセスメントワーキングチームの概要

【事務局】市障がい者福祉課・基幹相談支援センター・松江障害者就業・生活支援センターぶらす、(社福)桑友

【メンバー】オフィスまるべりー、桑友、島根障害者職業センター、松江公共職業安定所、松江養護学校、島根県中小企業家同友会、相談支援事業所ジョイ、らいとあっぷ

【活動内容】 「就労選択支援」を見据えた就労アセスメントの試行によるノウハウ収集、制度導入に向けてのフォローアップ体制の検討

令和6年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部障がい者福祉課	障がい差別のない共生社会推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標			
	障がいの有無に関わらず、「誰もが住みよい共生社会のまち 松江」の実現を図るもの。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画
		目標値	出前講座・研修累計参加者数（H28～）	15,494	17,694
目標（何を達成するのか）	共生社会の実現には、障がい特性や合理的配慮についての理解の推進の取組みが重要であり、より多くの市民に研修会や出前講座に参加していただくもの。				

事業概要	「松江市障がいのある人も共に住みよいまちづくり条例」の施行（平成28年10月）を契機として、障がいのある人への合理的配慮や障がいの特性等についての理解を促進するために、関係機関や当事者の方と連携して、講座や研修を開催するとともに、障がい者の雇用や配慮等に理解のある事業所・団体の表彰等を継続して実施していくことで「住みよい共生社会の実現」を図るもの。
	<p>（数値目標の目標年度） 項目名：出前講座・研修累計参加者数：2026（R8）年度</p>

事業計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施 ○条例に基づく表彰（1事業所） ○障害者差別解消法の改正による令和6年4月からの「事業者による合理的配慮の提供の義務化」に対応し、条例改正を実施。併せて事業者等に法改正について周知を実施。 ○手話言語条例の制定に向けた検討及び関係団体等との意見交換を実施。 ○出前講座（手話も含む） 22回 延780人 ○あいサポート 33回 延1,550人 	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい理解や合理的配慮等について市報はじめ様々な媒体を活用し周知啓発を行う。 ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施する。 ○障がい理解や合理的配慮、差別解消などの取組みが優れている事業所、団体等を表彰する。 ○手話言語条例の制定に向けた作業を進める。 ○出前講座（手話も含む） 25回 延700人 ○あいサポート 30回 延1,500人 	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい理解や合理的配慮等について市報はじめ様々な媒体を活用し周知啓発を行う。 ○団体、事業所、学校等で障がい理解や手話の出前講座を実施する。 ○障がい理解や合理的配慮、差別解消などの取組みが優れている事業所、団体等を表彰する。 ○出前講座（手話も含む） 25回 延700人 ○あいサポート 30回 延1,500人
	達成度 2 計画目標に向かって概ね順調		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R5 決算見込	R6 当初予算
事業費	406	897
国・県支出金		423
地方債		
その他		0
一般財源	406	474
歳入合計	406	897

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある人に対する「不当な差別的取り扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」について、未だ十分な意識の醸成が図られてない。より多くの人に障がい理解や差別解消について周知啓発を図り、考える機会を作る必要がある。 ○事業者による「合理的配慮の提供の義務化」を市内に浸透させる必要がある。 ○手話言語条例の制定について、当事者団体から要望を受けている。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き松江市社会福祉協議会等の関係機関や当事者団体と連携して、市民、企業、学校等へ障がい理解や差別解消の普及啓発を図る。併せて、「事業者による合理的配慮の提供が義務化」についても周知を継続する。 ○「ろうあ」や手話への理解を通じた共生社会のまちづくりに向け、当事者団体と協議しながら、手話言語条例の制定作業を進める。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	障がいのある人も共に住みよいまちづくり事業

R6スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	出前講座実施	通年	手話言語条例の制定作業
	随時	障がい者差別解消推進委員会開催		
	12月	障がい者週間における周知・啓発活動		
	12月	条例に基づく市長表彰		

本事業に関する主要データ				
○松江市障がい者差別解消推進委員会（設置根拠：松江市障がいのある人も共に住みよいまちづくり条例 平成28年10月1日施行）				
<ul style="list-style-type: none"> ・差別解消や障がい理解の取り組みについての審議 ・差別事案の調査審議 ・合理的配慮や障がい理解推進に優れた事業所、団体の選考 ・委員（10名） 				
弁護士会、松江市身障者福祉協会、手をつなぐ育成会、松江地区精神障がい者家族会連絡協議会、島根大学、人権擁護委員協議会、医師会、公共職業安定所、特別支援学校、相談支援事業所				

○あいサポート研修（平成23年度～ 実施主体：島根県 委託先：島根県社会福祉協議会）
誰もが、多様な障がいの特性や障がいのある方の困りごと、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、そして必要な時にちょっとした手助けができる「やさしくて温かい地域社会づくり」を目指し、島根県社会福祉協議会が県内の市町村社会福祉協議会と協力して「あいサポート運動」に取り組んでいる。「あいサポート研修」は、この運動を進めていく人材の養成を目的とするもの。なお、子ども向けの研修も開催されている。
○手話言語条例とは <ul style="list-style-type: none"> ・「手話が言語である」との認識に基づき、手話言語の理解並びに普及及び地域において手話言語を使用しやすい環境の構築に関し、基本理念を定め、市及び市民等の役割を明らかにするとともに、総合的かつ計画的に施策を推進し、ろう者とろう者以外の者が共生することができる地域社会を実現することを目的として制定する条例。 ・手話言語条例制定自治体 36都道府県、20区、349市、101町、6村 計512自治体（R6年1月17日現在）

R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	195		
報償費	76		
需用費	408		
委託料	150		
使用料及び賃借料	58		
負担金補助及び交付金	10		
事業費計			897

令和6年度 総合計画実施計画

市民部市民生活相談課 まちづくり推進事業費

所属	事業名
市民部市民生活相談課	まちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民活動・地域活動への市民の参画割合を高めるため、市民、NPO、企業、行政などが連携し、活動の裾野を広げる。	項目（成果指標）	R5実績見込	R6計画	R7計画	目標値
		市民活動・地域活動への市民の参画割合%	51.5	65		68
目標（何を達成するのか）	市民活動・地域活動を市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政などが共有する仕組みを確立し、活動への興味・関心・参画意識の醸成、意欲の増進を図る。	まちづくり推進事業新規参加者累計数（人）	318	360		480

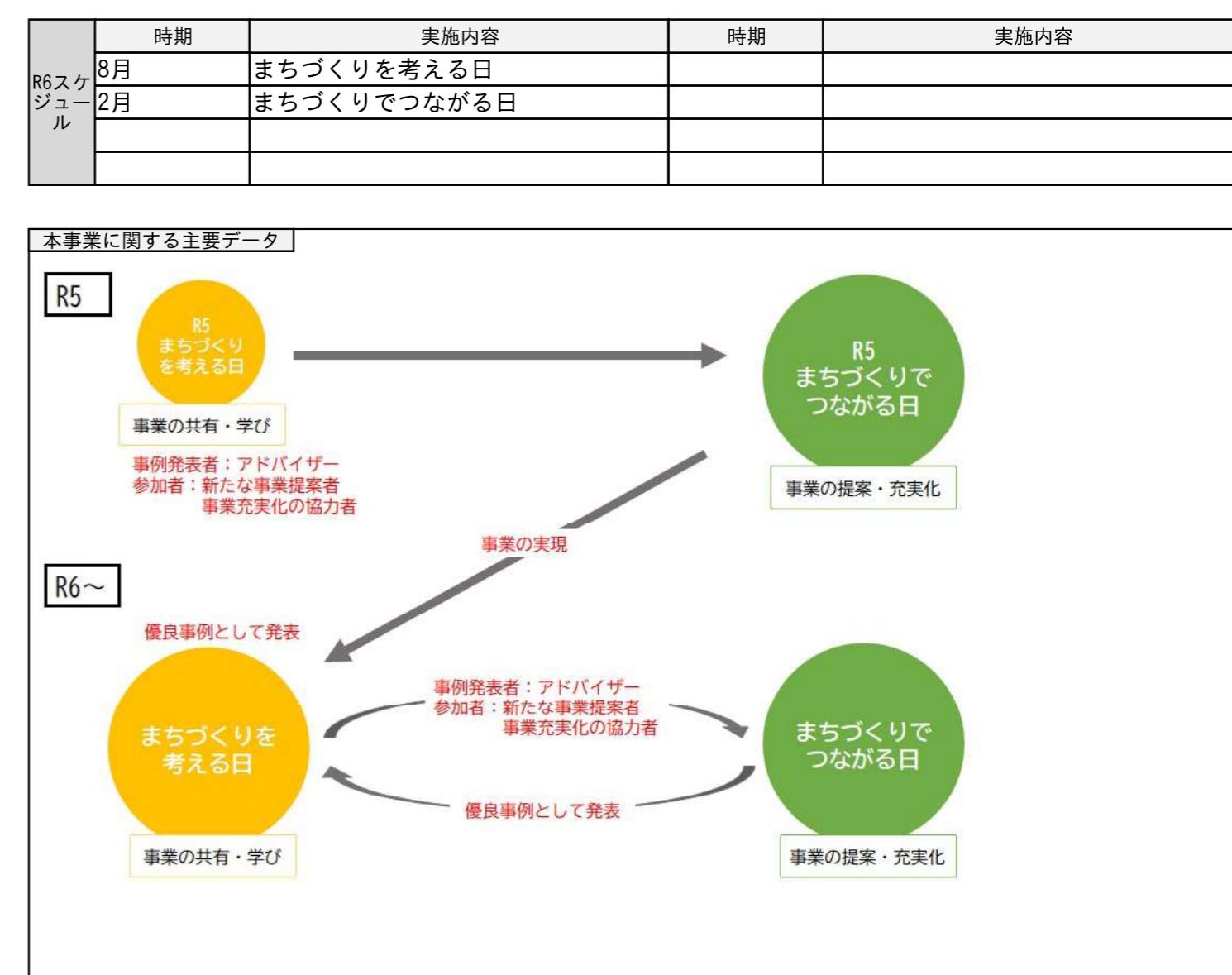
事業概要	<p>〈成功事例発表〉 地域で既に実践されている先進的な市民活動・地域活動を共有し、他の地域への広がりを目指し、「まちづくりを考える日」を開催する。</p> <p>〈地域課題提案〉 地域での新たな取り組みや、これまでの市民活動・地域活動の充実化について、多様な団体と一緒に考え、知恵を出し合う場として、「まちづくりでつながる日」を開催する。</p>
------	--

事業 計画	R5実績見込	R6計画	R7計画
	達成度		
	<p>○まちづくりを考える日の開催 実施日：令和5年8月19日（土）</p> <p>○まちづくりでつながる日の開催 実施日：令和6年2月7日（水）</p> <p>○市ホームページなどで情報発信を行い、市民、町内会・自治会、NPO、企業などの協働・連携を促進</p>	<p>○まちづくりを考える日の開催</p> <p>○まちづくりでつながる日の開催</p> <p>○市ホームページなどで情報発信を行い、市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政などの協働・連携を促進</p>	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R5	R6
財源 内訳	事業費	決算見込	当初予算
	国・県支出金		95
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	10
	歳入合計	0	1,050

課題	○より多くの市民、NPO、企業などに市民活動・地域活動を広げていく必要がある。	方向性	○地域課題の共有を図り、地域の実情や市民活動・地域活動の大切さを知っていただく。 ○先進的な取り組みや、ユニークな市民活動・地域活動について情報共有し、興味・関心をもっていただけるよう促す。 ○町内会・自治会連合会と連携して実施し、町内会などの事例発表や情報共有の場を設け、市民・地域間交流の活性化や、参加者の裾野を広げる。 ○市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政などがつながる会を設け、市民活動・地域活動についての情報共有や、実践へのきっかけづくりを行う。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	ひとづくり
	基本施策	松江市民のモットーは「寛容」
	主要施策	まちづくり推進事業



R6節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	59		
旅費	4		
需用費	20		
役務費	48		
使用料及び賃借料	928		
事業費計			1,059